

生涯学習関連事業実施状況調査表(2次計画)

No.	第2次計画施策体系				体系番号	関連事業名	事業担当課	①事業の概要等	②令和元年度の事業実績		③令和元年度の目標達成度		④令和2年度の事業の方向性		
	目標	基本方針	方向性	基本施策					事業の内容	達成度	達成度を左のとおりとした理由	方向性	事業の方向性を左のとおりとした理由		
1	1	学習活動のきっかけづくり	I	学べる	(1) 学びはじめの支援	①普及、啓発事業の実施	1-1-1-1-02	図書館利用の普及とPR及び情報発信の強化	図書館	全ての市民に開かれた施設として、図書館への関心を高め利用を促す。図書館サービスについての情報を多方面に向けて積極的に発信し、図書館を利用したことがない人にもサービス内容を知らせるようPRを強化する。	図書館ホームページや発行物を通じて広報に努めた。大宮図書館の移転・開館をした。	A: 達成された(85%以上)	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策で休館を余儀なくされた中、数値目標の94%に達したため。	B: 現状維持	図書館のサービスや催し物についての記者への情報提供を定期的に行い、図書館を利用したことがない市民にも情報が届くようにする。
2						1-1-1-2-01	生涯学習情報の提供・生涯学習相談の充実	生涯学習振興課、生涯学習総合センター・公民館	生涯学習に関する情報を求める市民に対し、一人ひとりのニーズに応じた幅広い情報提供を行うことができるよう、学習情報の提供及び学習相談機能の充実に努める。	平成26年度～令和元年度に生涯学習相談ボランティアとの協働による相談事業を、生涯学習総合センターで月2回実施するとともに、会場まで来館できない市民へも相談の機会を設けるため出張相談会を年度2回行い学習情報提供を行った。	A: 達成された(85%以上)	目標数値を達成したため、Aとした。	B: 現状維持	生涯学習相談ボランティアによる生涯学習相談事業を実施する。また、公民館報、チラシ・ポスター、生涯学習情報システムなどを活用し、さまざまな学習情報の提供を今後も行っていくためBとした。	
3						1-1-1-2-02	学習相談員等の育成	生涯学習振興課	市民の学習相談に対する的確に対応する能力等を向上させるため、人材を育成する。	学習相談については、生涯学習情報誌「まなべル」や生涯学習情報システムなどを活用して対応した。人材の育成については、社会教育主事講習に参加した。	A: 達成された(85%以上)	昨年度に続き、社会教育主事として必要な知識又は技能を習得するため、社会教育主事講習に参加した。	B: 現状維持	引き続き、社会教育主事講習への参加を呼びかけていきます。	
4						1-1-1-2-03	職員研修の充実	生涯学習総合センター・公民館	政令指定都市の公民館及び社会教育・生涯学習を取り巻く状況が変化している中、公民館職員として、公民館及び社会教育・生涯学習の今日的課題に対する理解を図り、職務遂行に必要な知識を習得することを目的に職員研修の充実を図る。	生涯学習総合センターにおいて、初任期研修(新任職員研修、2年次職員研修)、役割別研修(公民館長研修、常勤・再任用職員防災研修、社会教育主事職員研修)、課題別研修(仕掛学研修、モチベーションアップ研修、公民館事業の作り方研修、親の学習担当者研修)を実施した。併せて、各区公民館において、区内公民館の課題に対応する研修を実施した。	A: 達成された(85%以上)	目標数値を達成したため、Aとした。	B: 現状維持	公民館職員として、公民館及び社会教育・生涯学習の今日的課題に対する理解を図り、職務遂行に必要な知識を習得することを目的に今後も職員研修を行っていくためBとした。	
5						1-1-1-2-04	幅広く計画的な資料の収集・保存	図書館	市民の多様な要求に応えられる幅広い蔵書を構築するため、効果的で計画的な資料収集・保存を行う。新しいメディアについても研究する。	幅広く計画的な資料の収集・保存を行い、ほぼ数値目標に及ぶタイトル数の図書を所蔵することができた。また令和元年度は電子書籍を1,002タイトル購入した。	A: 達成された(85%以上)	数値目標の97%に達したため。	B: 現状維持	市民の多様な要求に応えられるよう、幅広い資料の収集を目指してきており、限られた予算ではあっても、引き続き効果的な資料の収集・保存を行うため。	
6						1-1-1-2-05	・親しみやすい図書館づくり ・職員の資質・能力の向上 ・専門的職員の配置	図書館	さいたま市図書館ネットワークを活用したサービスを展開するとともに、市民の要求に的確に応えるため、図書館職員の資質・能力の向上を図る。	レファレンス、パスファインダー、児童サービス等、図書館業務に関わる研修の他、政策、著作権、接遇等の内部研修を実施した。また、文部科学省や日本図書館協会等が主催する外部研修に職員を派遣した。	A: 達成された(85%以上)	数値目標の98%に達したため。	B: 現状維持	幅広い内容の研修を行い業務に必要な知識を習得するため。	
7	(2) 学習情報の拡充	I	学べる	(2) 学習情報の拡充	①生涯学習情報システムの機能拡充	1-1-2-1-01	生涯学習情報システムの充実	生涯学習振興課	市民一人ひとりができるだけ自分に合った形で学んでいけるよう、インターネットで講座・イベントや団体・サークルの情報など多様な学習情報を提供する生涯学習情報システムの機能の充実を図る。	生涯学習情報システムについて、システム改修により検索機能の強化や情報の見やすさの向上を図るとともに、公民館やコミュニティセンター等の職員に対する研修を実施し、情報提供の強化を図った。また、トップページへのお知らせを増やすよう呼びかけ、市民への情報提供を充実させた。	A: 達成された(85%以上)	入力講座数が目標を達成したため。	B: 現状維持	引き続き、関係各課所へ、システムの周知を図るとともに、操作方法の周知も図る。	
8					1-1-2-2-01	生涯学習情報誌の充実	生涯学習振興課	さいたま市の公共施設などで開催を予定しているさまざまな講座やイベント情報を掲載した生涯学習情報誌「まなべル」を発行する。	・令和元年度後期号掲載数:969件 ・令和2年度前期号掲載数:1,196件 ※合計掲載数:2,165件 ※各7,500部ほど発行し、市内公民館・図書館・区役所情報公開コーナーなどに配布した。	A: 達成された(85%以上)	公民館のほか、コミュニティセンターなどからも情報を収集し、幅広い情報を掲載することができた。	B: 現状維持	紙媒体での情報提供については、依然として市民ニーズも高く、引き続きより幅広い情報掲載に努めていく。		
9					1-1-2-3-01	消費生活情報の発信の充実	消費生活総合センター	その時々々の消費者トラブルの注意喚起特集や講座開催情報を掲載した情報紙の発行をはじめ、ラジオ、ホームページなど様々なメディアを活用し、市民一人一人が自分にあった方法で学べるよう情報を発信する。	消費生活情報誌を年4回、年12回ラジオ放送、ホームページでは87件の消費生活に関する注意喚起等の情報発信を行った。	A: 達成された(85%以上)	消費者トラブルは、日々変化しており多種多様化しているが、情報紙や毎月のラジオ放送、ホームページの公開により、タイムリーな話題を取り上げた注意喚起を行い、目標を上回る情報発信ができたため。	B: 現状維持	消費者被害の未然防止、注意喚起を行うため、情報紙やラジオ、ホームページ等様々な手段で情報発信を行う必要があるため。		
10					1-1-2-3-02	ICT(情報通信技術)を活用したサービスの充実	図書館	図書館ホームページを充実させ、情報提供サービスの利便性を向上させる。また、データベースの利用技術の講習などを行い、市民の情報収集能力の向上を図る。	・各館のテーマ資料展示の様子や、ブックリストをホームページに掲載した。 ・国会図書館の図書館向けデジタル化資料送信サービスを実施した。	B: ほぼ達成された(70%以上85%未満)	数値目標の76%に達したため。	B: 現状維持	継続して幅広い情報提供の機会を提供するため。		
11	2	多様な学習機会の拡充	(1) 多様な学習機会の提供	①市民ニーズ・現代的課題への対応	1-2-1-1-01	さいたま市出前講座	広報課	職員が市民等の集会、会合等に出向いて、市の施策、制度、事業等について説明する。	出前講座の利用が少ない世代へのパンフレット・チラシ配布や利用方法を示した動画作成、SNS等を利用した情報拡散など、従来の広報に加えてターゲットを絞った広報を行った。	A: 達成された(85%以上)	前年度に引き続き開催期間を拡大するとともに、各広報媒体での出前講座の周知を行ったことにより、目標を上回る数値実績を達成したため。	E: 縮小	市職員が直接集会・会合等に出向き、説明を行うことが市民・事業者の理解を深めることにつながると思われるものの、新型コロナウイルス感染症拡大防止への対策を優先し、参加者の安全を図る必要があるため。		
12					1-2-1-1-02	平和事業の推進	総務課	戦争の悲惨さやおろかさ、平和の尊さや大切さを後世に伝えていくため、「さいたま市平和展」を開催する。また、「さいたま市平和図画・ポスターコンクール」を開催し、市内小・中学生に平和への思いを自由に表現してもらうことにより、子ども達の平和への関心を高めていく。	(1)戦争の悲惨さやおろかさ、平和の尊さや大切さを後世に伝える取組として、さいたま市平和展を開催し、戦争体験者等の証言映像上映や第五福竜丸に関するパネル、戦争関連資料の展示等を行った。 (2)さいたま市立の小・中学校の児童・生徒を対象に「平和」をテーマとした図画・ポスターコンクールを行い、660点の応募作品の中から入賞作品を選考し、平和展会場にて展示を行った。	A: 達成された(85%以上)	いずれも目標値に対し85%以上の達成率となったため。	A: 拡大・充実	特に若い世代への戦争の記憶の継承に力を入れる必要があることから、平和展および平和図画・ポスターコンクールの内容を充実させる必要があるため		

生涯学習関連事業実施状況調査表(2次計画)

No.	第2次計画施策体系				体系番号	関連事業名	事業担当課	①事業の概要等	②令和元年度の事業実績	③令和元年度の目標達成度		④令和2年度の事業の方向性		
	目標	基本方針	方向性	基本施策					事業の内容	達成度	達成度を左のとおりとした理由	方向性	事業の方向性を左のとおりとした理由	
13	2 I 学べる	多様な学習機会の拡充	(一)多様な学習機会の提供	①市民ニーズ・現代的課題への対応	1-2-1-1-03	公民館水道講座	水道総務課	一般市民を対象に水道局職員が公民館へ出向き、さいたま市の水道、ムダな水をなくす工夫、水環境、簡単な漏水発見、防災対策、悪質な訪問販売などの講話を、パワーポイントを使用して講義を行う。	7月2日 春岡公民館 29人 アンケートの結果、今回の講座に満足していますかの質問に対し、そう思うと答えたのは66%だった。	D:達成されていない(50%未満)	講座の参加人数が年間目標を下回り、目標に対する実績の達成率では達成度が50%未満にとどまったため。	B:現状維持	目標数値を下回ったが、例年受講希望があるため、引き続き魅力ある講座の開設に努めていく。	
14					1-2-1-1-04	さいたま市民大学	生涯学習総合センター	市民大学の講座内容を充実し魅力的なカリキュラムづくりを進めるとともに、生涯学習関連施設等と連携し多様な学習機会の場を提供する。	生涯学習総合センター、宇宙劇場、大宮西部図書館、うらわ美術館の4施設(全12コース)で実施するとともに、生涯学習総合センターで特別講演を1回実施した。	A:達成された(85%以上)	目標数値を達成したため、Aとした。	B:現状維持	高度で専門的かつ多様なニーズに応える講座を引き続き実施していくためBとした。	
15					1-2-1-1-05	生活支援サービスの展開	図書館	ビジネス、法律、医療、健康、福祉、及び子育てに関する情報の提供など、市民の暮らしに直接関わる分野の情報サービスを積極的に進める。それぞれの分野の専門機関とも連携・協力し、市民の日常生活での課題解決に役立つ情報サービスを目指す。	市民の暮らしに直接関わる分野の資料を購入するとともに、チラシ・パンフレット等も設置して情報提供を行った。産業創造財団等と連携して、ビジネス相談会やセミナーを開催した。	A:達成された(85%以上)	数値目標を達成したため。	B:現状維持	ビジネス支援事業は主な事業として相談会とセミナーに分けられる。それぞれの開催数については連携先と協議の上、決めているが、今年度は4月～6月は開催できず、実施については7月以降に新型コロナウイルス感染拡大防止策を含めて相談していくため。	
16					1-2-1-1-06	「さいたま市食育ナビ」による情報発信	健康増進課	さいたま市の食育ポータルサイト「さいたま市食育ナビ」による情報発信を行うとともに、市民同士の情報交換の場として活用する。	・市立小中学校、保育園の給食だよりや給食レシピ、食育取組事例などを掲載した。 ・食育の担当者会議や協議会等でリーフレットを配布し、団体登録について呼びかけた。	A:達成された(85%以上)	連絡の取れない団体は「団体登録数」にカウントしないこととしたが、新規登録があり、目標を上回ったため。	A:拡大・充実	食や健康に関する幅広い情報の発信、情報交換の場とすることで、市民の興味・関心を高め、正しい知識を身につけることにつなげるため。	
17					1-2-1-1-07	食の安全に関する情報提供	食品・医薬品安全課	食の安全に関する講演会等を通じて、市民向けに正しい知識の普及啓発及び情報提供をする。	食の安全・安心の確保の一助として食品表示について情報提供及び意見交換を行った。 令和元年10月29日(火)プラザノースで食の安全フォーラム「活用していますか?食品の表示」の開催に54人の参加があった。	D:達成されていない(50%未満)	コロナウイルス感染症に係る感染防止対策として、食の安全フォーラム1回及びサイエンスカフェ2回の開催を中止としたため。	B:現状維持	食の安全に関する知識の定着、また、最新情報の普及のため、引き続き事業を行っていく。	
18					1-2-1-1-08	高齢者学級(介護予防事業との連携)(再掲)	公民館 いきいき長寿推進課	高齢者の介護予防を促進するため、区や公民館が共催で高齢者学級(介護予防事業)を実施する。 おもりに使った「いきいき百歳体操」や参加者同士の交流を行った上で、口腔、栄養、認知症予防の内容を含んだ複合型プログラムを実施している。また、教室修了者には、その後の自主活動化に向けた支援を行っている。	介護予防普及啓発事業として、公民館において、高齢者の生きがいづくり、健康づくりを目的とした「生きがい健康づくり教室」を実施した。	A:達成された(85%以上)	目標数値を達成したため、Aとした。	B:現状維持	地域のニーズの把握・分析に努め、引き続き事業を実施していくためBとした。	
19					1-2-1-1-09	食育に関する講座・教室	公民館	食育を通して、心と身体の健康と、豊かな人間性、自然への感謝の気持ちを育むために、食育講座、料理教室等を実施する。	公民館において、親子料理教室、そば打ち、お菓子づくり等の食育講座を実施した。	A:達成された(85%以上)	目標数値を達成したため、Aとした。	B:現状維持	地域のニーズの把握・分析に努め、引き続き事業を実施していくためBとした。	
新規					1-2-1-1-10	がん教育出前講座	健康増進課	若い世代からがんに関する正しい知識や検診の重要性を学ぶことで、がんへの関心を高め、予防行動や将来のがん検診の受診を促すとともに、家庭内での波及効果が期待できるため、市内の小中高生等を対象にしたがんに関する出前講座を実施するもの。						令和2年度新規事業
20					1-2-1-1-10	手話講習会	障害支援課	聴覚障害者のコミュニケーション手段のひとつである手話で日常会話を行うために必要な手話語彙、手話表現技術を習得した手話奉仕員を養成するために、講習会を開催する。	手話奉仕員養成講習会開講時人数 ①(入門コース) 4会場 合計102名 ②(基礎コース) 4会場 合計109名	B:ほぼ達成された(70%以上85%未満)	数値目標は下回ったものの、目標の75%以上に達したため。	E:縮小	新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、令和2年度は例年より規模を縮小して実施するため	
21					1-2-1-1-11	障害者支援事業(就労支援講座・生活支援講座・発達障害者支援講座等)の充実	障害者総合支援センター	障害者の就労促進を支援するために、職業訓練や各種研修、授産所支援等を行う。また、社会資源の少ない発達障害者を支援するため講座等を開催する。	障害者の職業準備性を高めるため、及び地域生活上でのルールやマナーを身に付けるための就労支援講座等を50講座開催し、生活支援講座等を8講座開催した。また、発達障害者当事者及びその家族・支援者を対象として、生活・就労・対人関係等の講座等を22講座開催した。	A:達成された(85%以上)	数値目標に対する実績が85%以上であり、講座等の内容についても参加者の満足度が高かったため。	B:現状維持	障害者就労の職業準備性、職業能力開発のため、各種講座を充実させる必要がある。また、発達障害に関する意識や生活上で役立つ情報を普及させることが当事者及びその家族等の地域生活の充実に繋がるため、継続して実施する。	
22	1-2-1-1-12	聴覚障害者のための社会教養講座の充実	生涯学習振興課	聴覚障害者を対象に、講演・社会見学など、関心・要望が高い内容の講座を、聴覚障害者関係団体に委託して開設している。	1:5/11講演「伝わる事の大切さ」参加112人 2:6/22講演「手話の魅力～世代間で違う様々な手話表現～」参加167人 3:7/27講演「弁護士になって」参加102人 4:8/24講演「子どもたちの生きる力を育む～大宮ろう学園の教育実践～」参加125人 5:9/8日帰り社会見学参加36人 6:10/20講演「ろう者のバス運転士・物流、公共交通機関の重要性」参加75人	A:達成された(85%以上)	生活上で役立つ知識を身につける講座や手話に関する学習会等、聴覚障害者のニーズに合った事業を実施した結果、目標を上回る参加延人数となったため。	E:縮小	聴覚障害者にとって、生活に役立つ知識などを知る講座は有意義であることから事業は継続とし、ホームページへの情報掲載等によるPRや魅力ある講座の開設に努めていく。 なお、今年度は新型コロナウイルス感染症予防の観点から、事業規模を見直すこととする。					
23	1-2-1-1-13	障害のある児童とない児童の交流拡大	生涯学習振興課	小・中学生の、障害のある児童及びない児童をメンバーとして、スポーツ・レクリエーション・野外活動などを通して交流事業を行っている団体に補助金を交付し、活動を支援する。	障害のある児童及びない児童の交流を目的とし、スポーツ・レクリエーション等の事業を全11回実施した。	A:達成された(85%以上)	レクリエーション活動やキャンプ等を実施し、障害のある児童とない児童の相互理解を深めることができたため。	E:縮小	障害のある児童とない児童が交流し、相互理解を深めるためにも有用な事業であるので、学生ボランティアリーダーのスキルアップ、保護者が安心して児童を預けられる環境づくり、及び活動のPRに努める。 なお、今年度は新型コロナウイルス感染症予防の観点から、事業規模を見直すこととする。					

生涯学習関連事業実施状況調査表(2次計画)

No.	第2次計画施策体系				体系番号	関連事業名	事業担当課	①事業の概要等	②令和元年度の事業実績		③令和元年度の目標達成度		④令和2年度の事業の方向性	
	目標	基本方針	方向性	基本施策					事業の内容	達成度	達成度を左のとおりとした理由	方向性	事業の方向性を左のとおりとした理由	
24	I 学 べ る	2 多 様 な 学 習 機 会 の 拡 充	(1) 多 様 な 学 習 機 会 の 提 供	①市民ニーズ・現代的課題への対応【環境】	1-2-1-1-14	さいたま市環境フォーラム	環境創造政策課	市民、事業者、学校、行政などがブース展示等を行い、日頃の環境保全活動を紹介するなど、多くの市民に環境に関心を持ってもらうための学習機会を提供する。	10月11日(金)に、さいたま新都心駅東西自由通路及びコクーンシティコクーン1 コクーンプラザにて開催し、市民、事業者、行政などによる環境への取組に関する展示、体験型ブース、ステージアトラクション等を行った。	D: 達成されていない(50%未満)	台風の影響で、2日間開催予定のところ平日の1日間しか開催できず、令和元年度の目標の18.4%しか達成できなかったため。	B: 現状維持	イベントの企画を工夫し、より魅力ある内容となるよう努めるとともに、効果的なPR方法を検討していくことで、参加者数の増加を図る。	
25					1-2-1-1-15	ネットワーク型環境教育拠点施設@さいたまCITY	環境創造政策課	市内の環境施設、事業者などが連携して、それぞれが持つ既存の環境教育資源を有効活用し、多くの人々が環境への関心を持つ機会を提供する。	ネットワーク型環境教育拠点施設数は1施設増加し、21施設となった。また、市内21施設がそれぞれの特色を活かした施設見学や学習会、出前講座を実施し、総計70,849人がネットワーク型環境教育拠点施設を利用した。	A: 達成された(85%以上)	目標値を達成したため	A: 拡大・充実	市有施設のうち2施設が建替工事のため休業となるが、新たに民間事業者2施設の参加を目指し、環境教育拠点施設数を増やすとともに、施設間の連携強化を図ることで機能を充実させ、より多様な環境学習の機会が提供できるよう、更なる拡充を図る。	
26					1-2-1-1-16	水環境ネットワーク	環境対策課	「さいたま市水環境ネットワーク」は平成16年6月に設立した組織で、水環境に係わる活動をしている市民団体と行政がネットワークを形成し協働することで、さいたま市内の良好な水環境を再生し、守り育てていくことを目的としている。事業の一環として、講師を招き講演会を開催するなどして、水環境に係わる知識を深めている。	令和2年1月28日(火)「講演会及び活動発表会」を実施した。	A: 達成された(85%以上)	目標とした参加人数をほぼ達成したため	F: 廃止・休止	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、講演会及び活動発表会を中止しました。	
27					1-2-1-1-17	水環境教育の推進(雨水利用の実践)	環境対策課	市内の小学校に雨水タンクを設置し、雨水を花壇の水やりや打ち水に有効利用し、雨水利用による環境意識の向上を目標として、小学校への課外講座等を実施する。	市内1校の雨水タンクを修繕した。また、以下の3校で環境学習会を実施した。 R01.7.17 三橋児童センター R02.1.18 大宮小学校 R02.2.1 芝川小学校	A: 達成された(85%以上)	環境学習会の実施回数が目標を上回るため	B: 現状維持	引き続き、雨水貯留タンクの修繕が必要であり、併せて環境学習会も実施するため。	
28					1-2-1-1-18	アグリ・カルチャー・ビジネススクール	農業政策課	市民の農業への関心が高まる中、農業生産だけではなく農地の持つ多面的な機能や関連法、各種計画を熟知した総合的な知識・技能を有した、「農」の新たな担い手として、市の都市農業の発展を支援する人材(ランドコーディネーター)を育成するために開催する講座である。	全10回の講座を7月から9月まで実施し12名が受講した。そのうち11名がランドコーディネーターの認定を受けた。	A: 達成された(85%以上)	数値実績が数値目標の100%だったため左のとおりとした。	F: 廃止・休止	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により講師の手配が困難となり、今年度の実施を見送ったため。	
29					1-2-1-1-19	市民園芸講座	農業者トレーニングセンター	身近な市民の「農」に対する理解を深めるために、市内在住の方を対象に各種の園芸講座を行っている。	春バラの楽しみ方と栽培管理、展示温室で行う洋らんの植え替え講座、初夏のガーデニングを楽しもう(ハーブ編)、秋野菜の育て方、イチゴの楽しみ方、ハロウィン飾りを作ろう、展示温室で行う冬の洋らんの管理、お正月向けコケ玉作り、玄関門松作り、新春シクラメンの寄せ植え、サクラ草の育て方、夏野菜の育て方	B: ほぼ達成された(70%以上85%未満)	令和元年度2月以降は新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、2月の「サクラ草の育て方」は自粛欠席者が目立ち、3月の「夏野菜の育て方」に関しては中止となったため、実際の受講希望者よりも数値は少なくなっている為、判断が難しい。	C: 見直し	新型コロナウイルス感染拡大により緊急事態宣言が発令された際は、施設の臨時休館等により市民園芸講座の実施は難しくなるため、ホームページ等で動画を使った講座の実施を行う。	
30					1-2-1-1-20	さくら草まつりの充実	観光国際課	特別天然記念物である田島ヶ原のサクラソウ自生地でのサクラソウの開花時期に合わせ、本市観光事業の振興、市の花サクラソウの啓発並びにサクラソウ自生地の保護保全を図るため「さくら草まつり」を実施する。	4月13日(土)・14日(日) 市役所会場 さくら草展、山草展、盆栽展、さくら草栽培相談他 桜草公園会場 さくら草コンサート、キャラクターショー他	B: ほぼ達成された(70%以上85%未満)	来場者は見込みを下回ったが、サクラソウの啓発並びにサクラソウ自生地の保護保全を図るという目的は達成できたため。	F: 廃止・休止	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、令和2年度のさくら草まつりは中止となったため。	
31					1-2-1-1-21	環境講座	生涯学習総合センター・公民館	市民を対象として、身近な視点から環境問題を考えるきっかけづくりとして、環境講座を実施する。	公民館において、自然を愛する心の醸成を目的として、寄せ植え講座等を実施した。	A: 達成された(85%以上)	目標数値を達成したため、Aとした。	B: 現状維持	地域のニーズの把握・分析に努め、引き続き事業を実施していくためBとした。	
32					1-2-1-1-22	さいたま市消費生活展の開催	消費生活総合センター	市内で自主的に活動している消費者団体に日頃の活動・研究の成果を発表する場を提供するとともに、事業者団体の参加も得て、広く消費生活情報を提供し消費生活に関する啓発を図る。	さいたま新都心駅東西自由通路での開催を予定していた第19回さいたま市消費生活展が台風19号の影響で中止となり、規模縮小及び桜区役所との調整のうえ、「桜区交通・防犯フェア内消費生活展」として開催(消費生活に関するパネル展示、クイズラリー、ステージイベント等)。参加団体7団体、桜区交通・防犯フェア全体での来場者数2,000人。	C: あまり達成されていない(50%以上70%未満)	台風の影響により中止を決定したものを、「桜区交通・防犯フェア」内で同時開催することにより、消費生活展を実施することはできたが、当初の計画より事業規模を縮小したことで来場者数が目標を達成できなかったため。	B: 現状維持	第19回さいたま市消費生活展の開催中止とそれに伴う桜区交通・防犯フェア内消費生活展としての縮小開催は台風19号の影響による一過性のものであり、市内消費者団体の活動・研究成果の発表の場及び消費生活情報の啓発の場として、消費生活展を開催する必要があると考えられるため。	
33					1-2-1-1-23	消費生活講座等の開催	消費生活総合センター	自立した消費者としての市民の育成を進めるため、消費者として合理的に商品・サービスを選ぶように消費生活に関する消費生活講演会及び公民館、学校などへの消費生活出前講座を開催することで基礎的な知識の学習機会を提供し、消費生活に関する情報提供・知識修得を図る。	消費生活出前講座 85回/3,226人 消費生活セミナー 11回/387人 (内容) 悪質商法・消費者トラブル・相続税の基礎知識等	A: 達成された(85%以上)	出前講座については、多数の市民に啓発を行った結果、参加人数が目標を達成した。また、セミナーについては、クレジットカードや相続等消費者のニーズに合ったテーマで開催したことにより定員を確保することができたため。	B: 現状維持	消費者被害の未然防止には、消費者教育が不可欠であるため、引き続き、消費者のニーズに合ったセミナーや講座を開催する必要があるため。	
34					1-2-1-1-24	消費者講座の充実	公民館	市民の消費者意識の高揚を図ることを目的として、消費者講座等を実施する。	公民館において、セカンドライフセミナーや相続等、身近な暮らしに関する消費者講座を実施した。	A: 達成された(85%以上)	目標数値を達成したため、Aとした。	B: 現状維持	地域のニーズの把握・分析に努め、引き続き事業を実施していくためBとした。	
35					1-2-1-1-25	防災訓練の実施	防災課	地域防災計画に基づき、大規模地震に対する地域住民、自主防災組織及び防災関係機関の防災力の充実強化を図るとともに、災害対応能力の向上及び防災意識の高揚を図ることを目的とし、さいたま市総合防災訓練、各区防災訓練を実施している。	9月1日の、令和元年さいたま市総合防災訓練・防災フェアにおいて、5,935人の参加があり、参加者へのアンケートの結果、満足度が96%だった。また、各区において実施した避難所運営訓練において、11,746人の参加があった。	A: 達成された(85%以上)	令和元年さいたま市総合防災訓練・防災フェアの参加人数(5,935人)と、各区で実施した避難所運営訓練の参加人数(11,746人)の合計人数が、17,681人となり、目標値比101%となったため、左のとおり判断した。	E: 縮小	新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、総合防災訓練については、規模を縮小し、防災フェアを実施せず、市民参加・見学を中止としたもの。また、各区の避難所運営訓練についても、規模を縮小しての実施を依頼していることから、方向性を左のとおりとしたもの。	

生涯学習関連事業実施状況調査表(2次計画)

No.	第2次計画施策体系				体系番号	関連事業名	事業担当課	①事業の概要等	②令和元年度の事業実績	③令和元年度の目標達成度		④令和2年度の事業の方向性				
	目標	基本方針	方向性	基本施策					事業の内容	達成度	達成度を左のとおりとした理由	方向性	事業の方向性を左のとおりとした理由			
36	2	I	学	べる	多様な学習機会の拡充	(一)多様な学習機会の提供	①市民ニーズ・現代的課題への対応【安全】	1-2-1-1-26	交通安全教育の充実	市民生活安全課	市内の小学校・自治会・老人クラブ・地域等より要望を受け、市長委嘱の交通教育指導員が出張方式による交通安全教室を開催するものである。	開催回数合計：210回（参加 24,318人） 園児：24回（参加 1,600人） 小学生：158回（参加 20,339人） 高齢者：19回（参加 2,071人） その他：9回（参加 308人）	B: ほぼ達成された(70%以上85%未満)	目標回数は達成できなかったが、目標回数の70%以上を達成したため。	A: 拡大・充実	交通安全意識の高揚と交通事故件数の減少を目的に、各年代に合わせた学習プログラムによる交通安全教室を引き続き開催する。また、未就学児及び高齢者を対象とした交通安全教室の開催回数の増加を目指す。
37								1-2-1-1-27	少年消防団員の充実	予防課	市内の小学4年生から高校3年生までを対象に、火災や地震など災害に対する知識を習得させ、消防訓練を通じ規律礼節を身に付けさせることを目的とし、市内各消防署にて研修、訓練を実施している。	研修回数50回、参加757名 1 合同研修5回、参加250名 ・県外研修(そなエリア東京臨海広域防災公園、日本科学未来館)小学生94名 ・県外研修(防災科学技術研究所)中学生25名 ・さいたま市総合防災訓練 中学生23名 ・上級救命講習 中学生22名 ・消防出初式 86名(小学生69名、中学生17名) 2 各署での研修(10署合計) 45回、507名	B: ほぼ達成された(70%以上85%未満)	研修回数については、目標指標の94%を達成できたものの、参加人数は75%と目標指標を大きく下回る結果となったため。	E: 縮小	少年消防団員の新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、一部の研修会を中止する。
38								1-2-1-1-28	防災展示ホール	予防課	地震や火災などの災害についての疑似体験等を通じて、災害に関する知識の普及及び防火防災意識の高揚を図っている。	1 来館者数13,239名、地震体験車 体験人数24,685名 2 特別企画 ・「水害写真展」8月3日～9月1日 ・「火災写真展」12月1日～1月19日	A: 達成された(85%以上)	防災展示ホールにおける来館者数が、目標指標の91%を達成したため。	E: 縮小	新型コロナウイルスの影響で臨時休館になったことや3密を避けるために利用できる人数を調整していることから縮小とする。
39								1-2-1-1-29	交通安全・防犯教育の充実	公民館	地域の防犯、防災を目的として、防犯または防災教室等の講座を実施する。	公民館において、自転車安全教室や、AED講習会等の交通安全・防犯教育講座を実施した。	B: ほぼ達成された(70%以上85%未満)	目標数値をほぼ達成したため、Bとした。	B: 現状維持	地域のニーズの把握・分析に努め、引き続き事業を実施していくためBとした。
40							1-2-1-1-30	国際友好フェアの充実	観光国際課	国際交流団体の活動紹介、各国の物産・食べ物の紹介・販売、ステージでの民族舞踊・音楽の披露、交流テントでの子供向け国際交流・異文化体験イベントを行う。	5月3日(祝)・4日(祝) 市民の森・見沼グリーンセンター会場 ステージイベント、国際交流テント、国際屋台村、ユース国際ボランティアテント、姉妹友好都市紹介テント、協会活動紹介テント、ミニ応急体験会	A: 達成された(85%以上)	来場者数は目標数値を達成し、ステージでの民族舞踊・音楽の披露、交流テントでの国際交流・異文化体験イベントを通じ、事業の目的は達成できたため。	F: 廃止・休止	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、令和2年度の国際友好フェアは中止となったため。	
41							1-2-1-1-31	国際理解事業の充実	公民館	国際化に対応し、国際理解教育を推進するため、国際理解講座等の講座を実施する。	公民館において、外国語講座、外国の文化・歴史・料理等の国際理解講座を実施した。	A: 達成された(85%以上)	目標数値を達成したため、Aとした。	B: 現状維持	地域のニーズの把握・分析に努め、引き続き事業を実施していくためBとした。	
42							1-2-1-1-32	パソコン教室	生涯学習総合センター・公民館	情報化社会に対応するため、基礎を中心とした各種パソコン教室を実施する。	生涯学習総合センター及び公民館において、パソコンの基本的な操作から学ぶ講座を実施した。	A: 達成された(85%以上)	目標数値を達成したため、Aとした。	B: 現状維持	地域のニーズの把握・分析に努め、引き続き事業を実施していくためBとした。	
43							1-2-1-1-33	メディアリテラシー出前講座	教育研究所	ネットトラブルから子どもたちを守るために、保護者をはじめとする子どもを取り巻く大人たちが、携帯電話やスマートフォン等に関する現状や課題を理解し、子どもたちに指導できるようにするための出前講座を行う。	令和元年度は、計16ヶ所で開催し、延べ1,604人(前年度比+466人)が参加した。	A: 達成された(85%以上)	目標である1,300人に対し、1,604人が参加し、85%を大きく上回る123%を達成することができたため。	G: その他	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、状況をみて出前講座の開催を決定するため。	
44							1-2-1-1-34	応急手当講習(再掲)	救急課	応急手当の重要性、心肺蘇生法やAEDの使用方法を学ぶ講習	1,340回の応急手当講習を実施し、55,870人が受講した。	A: 達成された(85%以上)	小学校5、6年生が救命入門コース、中学校1年生が実技救命講習を受講したことにより目標を達成することが出来たため。	A: 拡大・充実	目標としていた受講者数を達成したため、目標人数を上方修正し、拡大した。	
45							1-2-1-2-01	就職支援講座及び働く人の支援講座	労働政策課	1求職者を対象に就職支援セミナーを開催する。 2勤労者や就労希望者に対して、職業能力の開発・向上を図るため、資格試験取得対策講座を開催する。 3働く人が知っておきたい労務実務や時事的な問題等について、正しい理解と認識を深めるための講座を開催する。	① 就職支援セミナー ・職業的自立支援事業実施分セミナー 実施回数329回、参加者数1,770人 ・埼玉労働局主催就職支援セミナー 実施回数134回、参加者数5,837人 ②働く人の支援講座 講座数5講座、回数13回、参加者数延541人	A: 達成された(85%以上)	目標に対し、85%以上の講座回数を達成したため。	E: 縮小	新型コロナ感染拡大防止の観点から、以下の内容に変更し、事業の縮小を行ったため。 ・就職支援セミナー4～8月開催分について中止。	
46	1-2-1-2-02	早期起業家教育事業	労働政策課	市内小・中学生に対し、「地域資源など本市の特性を活かした商品づくり」をテーマに、会社の立ち上げから商品企画、仕入、製造、販売、決算に至るビジネスの一連の流れを実践的に体験するための教育プログラムを実施する。	①公募型 ・参加者数60人 ・期間 7月23日～9月8日(全9回) ②学校実施型 ・参加学校数7校 ・参加人数942人 ※期間については各学校ごとに異なる。	A: 達成された(85%以上)	目標に対し、85%以上の参加者数を達成したため。	E: 縮小	新型コロナ感染拡大防止の観点から、以下の内容に変更し、事業の縮小を行ったため。 ・学校の授業時間内で実施する学校実施型は中止。 ・参加者を公募で募集し夏休み期間に実施する公募型は、時期をずらし、人数を縮小して実施を検討。							
47	1-2-1-2-04	ロボット工場の支援	労働政策課	小学4年生～中学3年生を対象に、茶運び人形ロボットやキャリアロボット等の作製を通じ、ものづくりへの興味喚起を行っている団体に補助金を交付し、活動を支援する。	・開催回数 7回 ・参加者数 延188人	A: 達成された(85%以上)	目標に対し、85%以上の年間延べ参加者数を達成したため。	F: 廃止・休止	新型コロナ感染拡大防止の観点から、全ての事業を中止するため。							

生涯学習関連事業実施状況調査表(2次計画)

No.	第2次計画施策体系				体系番号	関連事業名	事業担当課	①事業の概要等	②令和元年度の事業実績		③令和元年度の目標達成度		④令和2年度の事業の方向性	
	目標	基本方針	方向性	基本施策					事業の内容	達成度	達成度を左のとおりとした理由	方向性	事業の方向性を左のとおりとした理由	
48	2 I 学 べ る	多 様 な 学 習 機 会 の 拡 充	(1) 多 様 な 学 習 機 会 の 提 供	②キャリア教育・職業教育の充実	1-2-1-2-05	人権啓発講演会の充実	人権政策・男女共同参画課	現在においても、差別意識が根強く存在し、差別事象が後を絶たない状況にある。そこで、人権教育及び人権啓発の推進に関する法律に基づき、その差別意識の解消に向けた啓発活動を推進するため人権啓発講演会を実施する。	アニメ声優を講師に迎え、エンターテインメント性を兼ねた講演を実施。1,343人が参加。親子で楽しみながら、人権について学ぶことができ、好評を得た。	C:あまり達成されていない(50%以上70%未満)	目標値に対する実績値が67%であったため	B:現状維持	当事業の目的である人権意識の普及高揚は永久普遍的なテーマであり、単年度の参加人数に一喜一憂せず、継続的に実施していくことが必要である。	
49				1-2-1-3-01	三つ和会館事業の充実	人権政策・男女共同参画課	近隣地域住民を対象に、人権意識高揚の活動拠点及び地域のコミュニティ施設として、人権講演会及び各種講座を開催する。	「人権講演会」「ほのぼの交流会」「夏休み子ども造形ひろば」「夏休み親子料理教室」等の講座・事業計104回、参加者延人数3,091人	A:達成された(85%以上)	目標値に対する実績値が85%以上であったため。	E:縮小	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、主催事業を一部中止しているため。		
50				1-2-1-3-02	「女・男フェスタさいたま」の開催	人権政策・男女共同参画課	市民団体から構成される「さいたま市男女共同参画推進団体連絡協議会」とさいたま市との共催により、年1回、男女共同参画意識啓発事業として、「女・男フェスタさいたま」を開催する。事業費としては、市から協議会に補助金を交付し、協議会が中心になり企画・運営を行う。	日時:令和2年1月11日・12日 会場:シーノ大宮センタープラザ10階(生涯学習総合センター) 催物:講演、映画上映会、展示、ワークショップ、ステージ発表 参加者数:延600人	A:達成された(85%以上)	目標値に対する実績値が85%以上であったため。	B:現状維持	さいたま市における市民参加型の男女共同参画推進をしていく上で、市民が協働で活動するにはフェスタのようなイベントは効果的であり、参加する市民団体を増やし開催していく。		
51				1-2-1-3-03	男女共同参画推進のための講座・講演会の充実	人権政策・男女共同参画課	男女共同参画についての意識の向上を図るために、今日的な課題やニーズを踏まえながら講座、講演会を開催する。	1傷ついた心のケア講座 2性暴力防止セミナー 3DV防止セミナー 4男女共同参画週間記念事業 など 述べ開催回数:54回、参加者数:延2,506人	A:達成された(85%以上)	目標値に対する実績値が85%以上であったため。	B:現状維持	第4次さいたま市まちづくりプランに基づき、受講者数の増加につながるような男女共同参画社会の実現に資する講座を立案し、市民の知識と理解を深め実践につなげる機会を提供していく。		
52				1-2-1-3-04	人権教育推進事業の充実	人権教育推進室	すべての人々の人権が尊重された明るい社会の実現を目指して、同和問題をはじめとする様々な人権問題の解決に向け、家庭・地域・学校・職場などあらゆる場において人権意識の高揚と人権感覚が身に付くことを目的とした、人権教育の推進を図る。	講座・講演会参加者数 9,381人 人権標語応募数 91,138人 人権作文応募数 72,338人 教育啓発資料等作成 7種類	A:達成された(85%以上)	人権意識の高揚と人権感覚が身につくことを目的とした講座・講演会の参加者数が、数値目標に対して93.8%を達成したため。	A:拡大・充実	人権が尊重された明るい地域社会の実現を目指して、引き続き、人権意識の高揚などが図られる講座・講演会等を実施し、人権の教育推進事業の充実に努めていく。		
53				1-2-1-3-05	人権教育集会所事業の充実	人権教育推進室	地域社会における人権教育を推進するため、地域住民の教育文化の向上と交流を図るため、人権教育集会所の管理・運営を行う。	集会所利用者数 23,033人 五反田会館 16,567人 鹿室南集会所 6,466人	A:達成された(85%以上)	地域住民の教育文化の向上と交流を図るための施設である人権教育集会所の利用人数が、数値目標に対して92.1%を達成したため。	A:拡大・充実	地域社会における人権教育を推進するため、また地域住民の教育文化の向上を図るため、今後も誰もが気軽に立ち寄り、利用できる人権教育集会所になるよう、事業の充実に努める。		
54				1-2-1-3-06	人権教育・啓発講座	公民館	市民の人権意識の高揚及び人権・同和問題等の理解を図るため、広く人権に関する講座を実施する。	公民館において、手話講座、人権意識の高揚を図る落語等、人権に関する講座を実施した。	B:ほぼ達成された(70%以上85%未満)	目標数値をほぼ達成したため、Bとした。	B:現状維持	地域のニーズの把握・分析に努め、引き続き事業を実施していくためBとした。		
55				1-2-1-4-01	文化芸術に関する鑑賞機会の提供	文化振興課	芸術鑑賞へのきっかけとなるようなものから、高度なものまで、より多くの市民に対する多岐に亘る芸術公演等の鑑賞機会を提供する。	文化施設7施設のホール事業やアウトリーチ事業では、音楽57事業、落語14事業、劇・朗読劇1事業、舞踊1事業、伝統文化7事業、その他5の計85事業を開催した。(文化センターは、改修工事のため令和元年11月まで休館、新型コロナウイルスにより前年度調査目標事業の12事業が中止)	A:達成された(85%以上)	多岐に亘るジャンルの公演を行い、数値目標に対する実績が達成されたため。	A:拡大・充実	様々なジャンルの芸術公演を実施していくことで、今まで芸術鑑賞に触れたことのない方にも、興味を持ってもらえるようにイベント企画を工夫し、より魅力ある内容と併に効果的なPR方法を検討するため。(新型コロナウイルスにより事業が延期又は中止となる可能性あり)		
56				1-2-1-4-02	国際的な芸術祭の開催	国際芸術祭開催準備室	文化芸術都市の創造に向けて、多様な文化芸術と触れあうことのできる国際的な芸術祭を開催する。	実施計画・開催概要の策定/参加アーティストの決定/先行プロジェクトの実施/広報活動(100日前イベント)の実施 ※3月14日から開幕予定だった「さいたま国際芸術祭2020」は新型コロナウイルス感染拡大の影響により延期となった。	A:達成された(85%以上)	国際芸術祭の開幕に先行して実施したプロジェクトや開幕100日前に実施した広報イベントなどにより、目標値を上回る参加があったため。なお、評価指標②の「認知度」について、芸術祭開催中にアンケート調査の実施を予定していたが、延期となったため、未実施。	G:その他	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当初予定していた規模での国際芸術祭の開催を見送ったため。		
57				1-2-1-4-03	常設展・企画展の充実	文化振興課(漫画会館)	日本近代漫画の先駆者「北沢楽天」の顕彰と、漫画文化の振興を図るため、収蔵品展・企画漫画展・公募漫画展・漫画教室等を実施している。	収蔵品展:2/23/-5/6.5/18-7/7 企画漫画展:9/7-11/24	B:ほぼ達成された(70%以上85%未満)	目標数値には達しなかったが、目標数値の70%は超えたため。	B:現状維持	展示の充実を継続し、特に調査研究等による利用者へ資料提供の利便を図るため、資料を整理する必要があるため。		
58	1-2-1-4-04	盆栽文化の振興	大宮盆栽美術館	盆栽を中心として、盆器、水石、絵画資料、歴史・民俗資料などの紹介により、盆栽文化をひろく内外に発信する。	・特別展2回、企画展9回 ・講座等430回 ・さいたま国際盆栽アカデミー日本人向けコース(初級・中級・上級)、在住外国人向け・外国人向けコース(初級・中級)の開講	B:ほぼ達成された(70%以上85%未満)	達成率82%であったため	A:拡大・充実	展示内容及び普及活動のさらなる充実を図りつつ、引き続き、来館者数増加に向けた情報発信の工夫や取組みが必要となるため。					
59	1-2-1-4-05	現代短歌新人賞の充実	生涯学習振興課	1年間に刊行された、原則として第一歌集を対象として、識者アンケート及び選考会によって受賞作品1点を決定する。表彰式・特別講演を開催し、広く市民に周知する。	全国の著名歌人から推薦のあった歌集をもって実施した選考会で、川島結佳子氏の歌集「感傷ストーリー」に贈賞を決定した。	E:実施していない	新型コロナウイルス感染症対策のため、市民の参加する表彰式・特別講演は中止といたしました。	B:現状維持	現代短歌の創成期に活躍をした歌人の方々の指導によって、現在も多くの歌人が活動しており、今後もそのような経緯と本市の文化都市、文教都市としての魅力を発信するため。					

生涯学習関連事業実施状況調査表(2次計画)

No.	第2次計画施策体系				体系番号	関連事業名	事業担当課	①事業の概要等	②令和元年度の事業実績	③令和元年度の目標達成度		④令和2年度の事業の方向性	
	目標	基本方針	方向性	基本施策					事業の内容	達成度	達成度を左のとおりとした理由	方向性	事業の方向性を左のとおりとした理由
60	2 I 学 べ る	多 様 な 学 習 機 会 の 拡 充	(1) 多 様 な 学 習 機 会 の 提 供	④文化・芸術にふれあう機会の提供	1-2-1-4-06	文化・芸術講座の充実	公民館	文化・芸術に親しむことを目的として、文化・芸術講座を実施する。	公民館において、コンサート、文学・歴史講座、陶芸等の文化・芸術講座を実施した。	A: 達成された(85%以上)	目標数値を達成したため、Aとした。	B: 現状維持	地域のニーズの把握・分析に努め、引き続き事業を実施していくためBとした。
61					1-2-1-4-07	コレクション展	うらわ美術館	さいたま市ゆかりの作家達の優れた作品と、関連する国内外の作品を、収蔵品を中心に紹介する。	CUT OUT! 切抜きの冒険 -「本をめぐるアート」コレクションより(4月20日～6月23日)を開催した。	C: あまり達成されていない(50%以上70%未満)	目標としていた来館者数を下回ってしまったため。	B: 現状維持	コレクション展の開催により、収蔵品の紹介に努めていく。コレクション展自体で集客が見込める内容を目指し、広報に努めていく。
新規					1-2-1-4-08	文化芸術を活用した商業振興事業	商業振興課	市内商業の活性化を図るために、商店街等において、盆栽、音楽、現代アートなどの文化芸術を活用した取組を実施し来訪者を呼び込むことで、賑わいを創出するもの。	大宮駅東口において盆栽を活用した取組、北浦和駅西口において現代アートを活用した取組を実施しました。			A: 拡大・充実	総合振興計画後期基本計画後期実施計画において拡大と定めている事業であるため。
62					1-2-1-5-01	総合型地域スポーツクラブの支援	スポーツ振興課	市民の誰もが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツにたずさわるといふ視点から、多様目・多世代にわたり地域住民が主体的な運営を行う総合型地域スポーツクラブに情報提供や広報活動の支援を行う。	PRリーフレットの作成・配布 クラブのプログラム紹介チラシの配布支援	A: 達成された(85%以上)	目標値に対し、99%の達成率となったため	B: 現状維持	各クラブの地域における認知度向上を図るため、地域の公共施設等との連携を進めるなど、市民に対する更なる周知を図っていく必要がある。
63					1-2-1-5-02	シニアスポーツ大会の充実	スポーツ振興課	シニア年代の市民が気楽に参加できる大会を開催することにより、健康増進・体力向上を図るとともに、相互の親睦を深めることを目的とする。	シニアスポーツ大会の開催 令和元年6月8日(土)	A: 達成された(85%以上)	目標の参加人数を超える実績があったため。	F: 廃止・休止	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、事業を中止しました。
64					1-2-1-5-03	さいたま国際マラソン	スポーツイベント課	フルマラソンを中心とした市民マラソンと女子マラソン代表選手選考レースを併せて開催することにより、市民のスポーツに対する意欲・関心を高め、「スポーツのまち さいたま」としての都市イメージを国内外に発信する。	東京2020大会の女子マラソン代表選手を選考するマラソングランドチャンピオンシップファイナルチャレンジのレースと併せ、一般フルマラソン・8km・1.5km・親子ラン・車いす・2時間チームランの各部門を開催した。	A: 達成された(85%以上)	フルマラソンや8kmの部で定員に達したほか、駒場ファンランの各部門でも多くの参加申込があり、目標を達成したため。	F: 廃止・休止	女子マラソン代表選手選考レースの終了に伴い、大会を全体的に見直す必要があることから、令和2年度は一般の部を含む大会の開催を見送るため。
65					1-2-1-5-04	スポーツ指導者の育成	スポーツ振興課	スポーツ推進委員を対象に、スポーツ指導者として資質の向上や指導に必要な理論・実践方法に関するさまざまな研修を実施して育成を図る。	中央研修会 計138人 令和元年12月1日(日)・15日(日)	C: あまり達成されていない(50%以上70%未満)	屋内体育施設の利用数の制限により、研修会の開催日数が減り、目標に対して55%の達成度だったため。	G: その他	研修会の実施については、現行の手法が効率的であり、参加数の大幅な拡充は難しいが、引き続き研修会を実施し、スポーツ指導者の育成を図る。ただし、新型コロナウイルスの影響により、規模の縮小等の検討の必要がある。
66					1-2-1-5-05	レクリエーション組織の育成	スポーツ振興課	多くの市民の方々にレクリエーション・スポーツの楽しさを体感してもらい、会員と市民の親睦・交流を通して、加入を呼びかけ、会員数を増加させることを目的とする。	普及事業 18団体実施 延べ2006人	B: ほぼ達成された(70%以上85%未満)	目標に対して77%の達成度だったため。	G: その他	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、実施可能な団体のみ実施することとしました。
67					1-2-1-5-06	レクリエーションフェスティバルの充実	スポーツ振興課	スポーツ・レクリエーションの体験を通じて、市民相互および加盟団体との交流を深め、より多くの市民のスポーツ・レクリエーション活動への参加を促す。	レクリエーションフェスティバル 令和元年6月8日(土)	D: 達成されていない(50%未満)	目標に対して42%の達成度だったため。	F: 廃止・休止	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止としました。
68					1-2-1-5-07	さいたま市・南会津町たていわ親善ツアーデーマーチ	スポーツ振興課	世代・地域を越えた交流及び健康・体力づくりを図るため、友好都市である南会津町において、2日間にわたるハイキング等を開催する。	開催日: 令和元年9月28日(土)・29日(日) 参加人数: 141人 南会津町との共同主催により実施	B: ほぼ達成された(70%以上85%未満)	参加者のアンケート結果において、目標数値には達しなかったが、満足度に近い実績があったため。	F: 廃止・休止	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止としました。
69	1-2-1-5-08	スポーツ施設の整備・充実(スポーツ振興課所管体育館・武道館)	スポーツ振興課	スポーツ振興課が所管している体育館・武道館の利用を促進し、利用者が安全で使いやすい体育館・武道館になるよう設備、管理運営の充実を図る。	浦和駒場体育館 184,594人 大宮体育館 241,152人 与野体育館 183,864人 浦和西体育館 98,945人 記念総合体育館 455,610人 大宮武道館 199,658人 計 1,363,823人	A: 達成された(85%以上)	目標に対して99%の達成度だったため。	B: 現状維持	指定管理者制度の活用により、引き続き利用者サービスの向上を図る。このため、事業の方向性は現状維持の「B」とした。				
70	1-2-1-5-09	スポーツ教室の充実	公民館	生涯スポーツの振興及び地域住民の健康づくりを目的として、スポーツ教室等の講座を実施する。	公民館において、ウォーキングやヨガ、ストレッチ等のスポーツ教室を実施した。	A: 達成された(85%以上)	目標数値を達成したため、Aとした。	B: 現状維持	地域のニーズの把握・分析に努め、引き続き事業を実施していくためBとした。				

生涯学習関連事業実施状況調査表(2次計画)

No.	第2次計画施策体系				体系番号	関連事業名	事業担当課	①事業の概要等	②令和元年度の事業実績	③令和元年度の目標達成度		④令和2年度の事業の方向性	
	目標	基本方針	方向性	基本施策					事業の内容	達成度	達成度を左のとおりとした理由	方向性	事業の方向性を左のとおりとした理由
71	2 I 学 べ る	多様な学習機会の拡充	(1) 多様な学習機会の提供	⑤生涯スポーツの振興	1-2-1-5-10	障害者スポーツ・レクリエーション教室	障害政策課	スポーツ・レクリエーション活動を通じて、障害者の体力増強・交流・余暇活動等に資するため、各種の教室を開催し、障害者の社会参加の促進、健康の増進を図ることを目的としている。	サッカー、フライングディスクなど10競技13教室を市内各地で開催しました。ポッチャ、サッカー、フライングディスクについては、新たに市内学校を訪問しての教室を開催しました。	A: 達成された(85%以上)	数値目標に対する実績のが達成度116.2%となり、目標を大きく上回ったため。	B: 現状維持	引き続き、スポーツを通じて、障害者の社会参加の促進や健康増進を図る。また、小中学校の特別支援学級等への訪問型の開催についても、継続して実施していくため。
72				1-2-1-6-01	文化芸術創造に関する講座の実施	文化振興課	個人の創作意欲の喚起とともに、新たなコミュニティの形成と文化への関わりを深めるきっかけとなるような講座を実施する。	文化センター、市民会館うらわ、市民会館おおみや、市民会館いわつき、プラザイースト、プラザウエスト、アウトリーチ講座で計73事業を開催した。(新型コロナウイルスにより前年度調査目標事業のうち5事業が中止)	C: あまり達成されていない(50%以上70%未満)	子どもから大人まで様々な世代を対象とした講座を開催し、数値目標に対する実績が60.0%のため。	A: 拡大・充実	子どもから大人までの様々な世代の方を対象に、文化芸術を観るだけでなく、公演等に出演や参加していただけるような市民参加型事業を今後も、拡大・充実を図り、定員に達しないものについては、内容等周知方法の強化に努める。(新型コロナウイルスにより事業が延期又は中止となる可能性あり)	
73				1-2-1-6-02	青少年の野外活動の支援	青少年育成課	キャンプ、野外炊飯、レクリエーション、自然体験学習ができるグリーンライフ猿花キャンプ場の管理・運営を行い、野外活動の場の充実を図る。	開設期間: 4月1日～11月30日 キャンプ場利用者数: 2690人 キャンプ場利用者団体数: 83組	A: 達成された(85%以上)	目標値の利用者延べ人数3,000人に対し、2,690人の利用者があったため。	E: 縮小	目標がほぼ達成されているが、今年度はコロナウイルスの影響により利用休止していた期間がある。現状は条件付きで利用出来ている状況ではあるが、前年度以上の利用者数は期待できない可能性が高いため。	
74				1-2-1-6-03	子ども体験教室等	公民館	心豊かでたくましい子どもを社会全体で育てることを目的に、子どもや親子を対象とした体験教室等を実施する。	公民館において、主に夏休み期間を中心に工作や料理、スポーツ等の子ども体験教室を実施した。	A: 達成された(85%以上)	目標数値を達成したため、Aとした。	B: 現状維持	地域のニーズの把握・分析に努め、引き続き事業を実施していくためBとした。	
75				1-2-1-6-04	あらゆる世代に向けたサービスの充実	図書館	乳幼児から高齢者まで、誰もが利用でき、交流の生まれる市民の広場としての役割を果たす。また、人生のどのような段階においても、役に立ち、楽しめるような資料とサービスを提供する。	乳幼児と保護者を対象とした「あかちゃんおはなし会」、児童を対象とした「一日図書館員」等の各種の催し、働く世代を対象としたビジネス支援事業、各年代向けのテーマ資料展示等を実施した。	A: 達成された(85%以上)	数値目標の90%に達したため。	B: 現状維持	あらゆる世代に役に立ち、楽しめるような資料とサービスを提供するため。	
76				1-2-1-6-05	夏休み子ども博物館	博物館(市立博物館)	「夏休み子ども博物館」を開催し、児童の研究・学習の参考となるテーマ展示を行い、各種関連講座を開催する。	7月13日(土)～8月25日(日)の期間で開催。大宮総合車両センター見学やリーディングエッジ企業協力による講座など33の関連講座を実施。リーディングエッジ企業による展示も実施。	B: ほぼ達成された(70%以上85%未満)	数値目標に対して78%の数値実績が達成できたため。関連講座に関しては、全33講座の平均参加人数が41人であり、各関連講座の人気の高さがうかがえたため。	E: 縮小	小・中学校の臨時休校延長に伴い、夏季休業期間短縮のため、関連講座等の回数を削減させ、「夏休み子ども博物館」の開催規模を縮小したため。	
77				1-2-1-6-06	体験学習の充実	博物館(浦和くらしの博物館民家園)	小学校の各学年にあわせた体験学習を行い、学校教育との連携を進める。	小学3年生を主に体験学習を行い、学校教育と連携し学びを深めた。	A: 達成された(85%以上)	台風19号の被害と新型コロナウイルスの影響で臨時休館となり、やや実施校が減となったが、達成度は90%であった。	E: 縮小	新型コロナウイルスの影響で、感染防止のため従前どおりの体験学習を行うことが困難となった。	
78				1-2-1-6-07	自然に学ぶ夏の学校「むし・ほし・いし」	館岩少年自然の家	市立小学校の6年生及び平成28年本事業参加者(現中学校2年生)を対象とした東京大学との共催事業。日本近海でレアアースを発見し、日本の鉱物資源の可能性を広げることに大きく貢献している加藤泰浩学校長のもと「むし(昆虫採集)」「ほし(星空観察)」「いし(鉱物観察)」を中心とした南会津の雄大な自然の中での自然体験を通して、五感を働かせて楽しく学ぶことを目的とする。	小学6年生28人、中学2年生14人の参加があった。昨年のプログラムを一部変更し、小学生には自然の家新規活動プログラム(アウトドアゲーム)、中学生には昆虫トラップ(バナナトラップ)を行った。	A: 達成された(85%以上)	参加人数が昨年同数なみであり、目標数値を上回ったため	C: 見直し	全体としての満足度は非常に高いが、主催者側(東京大学)の意向により、中学生の参加に限定していく方向性のため。	
79				1-2-2-1-01	ブックススタート事業	子育て支援政策課	絵本の引換え券を4か月児健診の通知と一緒に送付し、引換えの主会場である単独型子育て支援センターにおいて、乳児とその保護者にセンター職員が絵本の読み聞かせ方をアドバイスした後、絵本などの入ったブックススタートバックをプレゼントする。	対象者: 10,068人 ブックススタートバック引換者: 6,226人 引換率: 61.8%	A: 達成された(85%以上)	引換えの主会場である単独型子育て支援センターで引換えできなかった対象者への救済措置として、各保育園での配布も実施し、令和元年度数値目標の89%の対象者にブックススタートバックを贈呈できたため。	B: 現状維持	赤ちゃんや保護者が絵本を通じて楽しいひとときをもち、親子の絆を深める一助となっているため。	
80				1-2-2-2-01	青少年団体の活動支援	青少年育成課	青少年の健全育成に関わる団体に支援をすることにより、指導者やリーダーの養成を進め、地域における活動を活性化させる。	青少年さいたま市民会議外3団体に対し、活動を支援した。	A: 達成された(85%以上)	数値目標の4団体に対し、4団体への交付実績があったため。	B: 現状維持	引き続き、青少年健全育成を目的とした青少年団体の活動支援を行っていく。	
81	1-2-2-2-02	少年少女発明クラブの支援	労働政策課	小学4年生～中学2年生を対象に、自由な発想による工作教室から、科学的な見方、考え方を体得するための学習会の開催及びその普及、啓蒙を図るための展示会開催などの様々な活動を通じ、少年少女の科学技術への夢と情熱を育む活動を行っている団体に補助金を交付し、活動を支援する。	・活動日数 31日 ・クラブ員数 39人	A: 達成された(85%以上)	目標に対し、85%以上のクラブ員数を達成したため。	F: 廃止・休止	新型コロナ感染拡大防止の観点から、全ての事業を中止するため。				
82	1-2-2-2-03	青少年向け講座の充実	公民館	心豊かでたくましい青少年(主に中学生・高校生を対象)を社会全体で育てることを目的に、青少年を対象とした講座を実施する。	公民館において、料理、コンサート等を実施した。	A: 達成された(85%以上)	目標数値を達成したため、Aとした。	B: 現状維持	地域のニーズの把握・分析に努め、引き続き事業を実施していくためBとした。				

生涯学習関連事業実施状況調査表(2次計画)

No.	第2次計画施策体系				体系番号	関連事業名	事業担当課	①事業の概要等	②令和元年度の事業実績		③令和元年度の目標達成度		④令和2年度の事業の方向性	
	目標	基本方針	方向性	基本施策					事業の内容	達成度	達成度を左のとおりとした理由	方向性	事業の方向性を左のとおりとした理由	
83					1-2-2-2-04	子どもの社会参画推進事業	子育て支援政策課 青少年育成課	子どもがつくるまち、青少年フォーラム、青少年の主張大会など、子どもの年代に応じた社会参画を推進する事業を実施する。	・子どもがつくるまちを全区で実施した。 ・12月14日 青少年の主張大会 応募総数934点	B: ほぼ達成された(70%以上85%未満)	・平成30年度につづき、全区で実施し、目標を達成することができたため。 ・目標の1,500人に対し、1,166人の応募者及び大会参加者があったため。	E: 縮小	・新型コロナウイルス感染症の影響により、全区では開催できないものの、子どもの社会参画意識の醸成を図るため、一部の区で実施予定のため。 ・引き続き、児童生徒が自ら考えをまとめ、表現する機会や児童生徒の思いや考えを市民が聞く機会を提供していく。	
84					1-2-2-2-05	子ども公民館	公民館	心豊かでたくましい子どもを社会全体で育てることを目的に、夏休み期間などに子どもを対象とした事業を実施する。	公民館において、主に夏休み期間を中心に工作や料理、スポーツ等の子ども公民館を実施した。	A: 達成された(85%以上)	目標数値を達成したため、Aとした。	B: 現状維持	地域のニーズの把握・分析に努め、引き続き事業を実施していくためBとした。	
85					1-2-2-2-07	子ども読書活動推進事業	図書館	子どもに読書をする楽しさや大切さを知らせるため、子どもの身近に本がある環境づくりを家庭・学校・地域と連携して推進する。	①市立小・中・中等教育学校219学級及び特別支援学校1校に8,810冊の学級文庫用図書を出し ②【本は生きま2019】等ブックガイドの配布 ③「とよんどくしよてちよう」を市立小学校1年生全員に配付 ④「市立高校4校POPバトル」や「冬の読書キャンペーン」など、学校と連携した事業の開催や学校訪問・図書館招待事業の実施 ⑤読み聞かせボランティア養成のための講座の開催	B: ほぼ達成された(70%以上85%未満)	小学生については、数値目標に対する実績が65%となったが、中学生70%、高校生95%の結果を受け、全体の平均が数値目標の76%に達したため。	B: 現状維持	子どもの読書活動を推進するには、継続して事業を実施する必要があるため。	
86			(2)ライフステージに応じた学習機会の提供		1-2-2-4-01	子育て講座の充実	生涯学習振興課	子育て講座は、学校教育に支障が無い範囲で、市立小・中学校が児童・生徒の保護者を対象とした講座を開設し、家庭における教育力の向上を支援するものである。多くの保護者が集まる機会(就学時健診・入学説明会など)を利用して開設する。	小学校入学前の就学時健診や、中学校入学前の入学説明会などの機会を活用し、保護者を対象とした子育て講座を実施した。 ・小学校104校中104校で実施 ・中学校58校中32校で実施	A: 達成された(85%以上)	小学校は全104校が開設し、中学校は58校中32校が開設したことで、実績が目標数値に達したため。	A: 拡大・充実	小学校では引き続き全校で開設し、中学校ではより多くの学校で開設をするため働きかけていく。	
87					1-2-2-4-02	PTA活動との連携(再掲)	生涯学習振興課	PTA活動の振興とその円滑な事業推進を目的として、社会教育関係団体補助金を交付する。	補助金交付:1,650千円	A: 達成された(85%以上)	補助金交付により、PTA活動の振興と円滑な事業推進に貢献している。	B: 現状維持	子どもたちの健全育成のため、学校・家庭・地域の連携は重要であり、その要となるPTA活動に対し、引き続き支援していくことは必要である。	
88					1-2-2-4-03	親の学習・家庭教育学級	生涯学習総合センター・公民館	都市化・核家族化に対応し、親同士がテーマに沿って話し合いながら、様々な考え方や自らの気づきを通じ、親として成長していくことを支援する参加型学習の実施や、家庭における子育てについての理解を深める講座を実施する。	親に対する支援として、公民館において他の子育て関連事業との組合せ等の工夫をしながら親の学習事業を実施した。	A: 達成された(85%以上)	目標数値を達成したため、Aとした。	B: 現状維持	地域のニーズの把握・分析に努め、引き続き事業を実施していくためBとした。	
89					1-2-2-4-04	保幼小連携教育研修会	教育研究所	保幼小連携教育研修会は、年に1回開催し、大学教授や各分野の専門家が幼児教育にかかわる講演を行うものである。小学校教員、市立及び私立保育園、私立幼稚園の保育士を対象に合同で講演及び情報交換を行っている。	8月5日に文部科学省初等中等教育局幼児教育課幼児教育調査官 河合優子氏を講師に招き、幼稚園教育要領に触れ、保幼小連携教育の充実に向けての講義を行った。また、小学校と保育園、幼稚園との情報交換の時間も設け、互いの理解を深めた。	A: 達成された(85%以上)	数値目標が達成されなかったが、数値実績が、85%以上であるため、A評価とした。	F: 廃止・休止	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、集合しての研修が現在困難であるため、令和2年度は保幼小連携教育研修会を実施しないため。	
90					1-2-2-5-01	シニアユニバーシティ(再掲)	高齢福祉課	60歳以上の高齢者を対象に、1年制の大学及び大学院を実施。講義やイベントを通じて学生間の親睦を図り、地域の仲間づくり、社会参加、生きがいづくりを推進する。	市内在住の60歳以上の方を対象としたシニアユニバーシティを実施しました。また、卒業生で構成される校友会連合会に補助金を交付しました。 ・卒業者数 大学 411人 大学院 318人	A: 達成された(85%以上)	評価指標(参加者の事業満足度)について、目標91.0%に対して実績が94.2%であり、達成度は104%であるためAとした。	B: 現状維持	高い満足度を得られている事業であり、引き続き多くの高齢者が受講することで、生きがいづくりを促進する。	
91					1-2-2-5-02	高齢者学級(介護予防事業との連携)	公民館 いきいき長寿推進課	高齢者の介護予防を促進するため、区や公民館が共催で高齢者学級(介護予防事業)を実施する。おもちゃを使った「いきいき百歳体操」や参加者同士の交流を行った上で、口腔、栄養、認知症予防の内容を含んだ複合型プログラムを実施している。また、教室修了者には、その後の自主活動化に向けた支援を行っている。	介護予防普及啓発事業として、公民館において、高齢者の生きがいづくり、健康づくりを目的とした「生きがい健康づくり教室」を実施した。	A: 達成された(85%以上)	目標数値を達成したため、Aとした。	B: 現状維持	地域のニーズの把握・分析に努め、引き続き事業を実施していくためBとした。	
92					1-2-2-5-04	高齢者支援事業の充実	公民館	高齢化社会に対応し、高齢者の生きがいづくり、健康づくり、地域活動(ボランティア活動)支援などを目的として、高齢者支援事業を実施する。(介護予防事業を除く。)	高齢者の生きがいづくり、健康づくり、地域活動支援を通して、高齢者を支援する事業を実施した。	A: 達成された(85%以上)	目標数値を達成したため、Aとした。	B: 現状維持	地域のニーズの把握・分析に努め、引き続き事業を実施していくためBとした。	
93			(3)学習環境の整備		1-2-3-1-01	多文化サービスの充実	図書館	様々な言語や文化に対する相互理解を深めるために、外国語資料の収集に努める。また、日本語以外を母語とする人たちのサービスの充実を図り、非常時にも対応できる情報提供に力を入れる。	寄贈資料を活用し受入点数を増やすようにした。また英語以外の言語を購入することを心掛け多言語化を図った。	D: 達成されていない(50%未満)	数値目標を大幅に下回ったため。	B: 現状維持	限られた予算内では単価の高い外国語資料の購入数を大幅に増やせる見込みは立たないが、寄贈資料を活用し受入点数を増やすなど、目標値に近づけるようにするため。	
94					1-2-3-1-02	若者自立支援ルーム	青少年育成課	社会生活を送る上で困難を抱える子ども・若者に対し、「若者自立支援ルーム」において、自立に向けた様々なプログラムの実施や地域社会との関わりを促すことにより、円滑に自立が果たせるよう支援を行う。	若者自立支援ルームにおいて、利用者の状態に合わせた自立支援プログラムを段階的に実施し、円滑な自立が果たせるよう支援を行い、年間延べ7,046人の利用があり、54名が次のステップへ進むことができた。	B: ほぼ達成された(70%以上85%未満)	目標人数は達成できなかったが、施設の移転による環境の変化や、新型コロナウイルス感染防止のため1か月の閉所等があったものの、目標人数の80%を達成できたため。	A: 拡大・充実	引き続き、利用者へ個々の状態に合わせた自立支援プログラムを段階的に実施し、自立に向けた支援を行うとともに、令和2年度より、2か所目の若者自立支援ルームを開設し、受入れ体制を拡充する。	

生涯学習関連事業実施状況調査表(2次計画)

No.	第2次計画施策体系				体系番号	関連事業名	事業担当課	①事業の概要等	②令和元年度の事業実績		③令和元年度の目標達成度		④令和2年度の事業の方向性	
	目標	基本方針	方向性	基本施策					事業の内容	達成度	達成度を左のとおりとした理由	方向性	事業の方向性を左のとおりとした理由	
95	I 学べる	2 多様な学習機会の拡充	(3) 学習環境の整備	②計画に基づく施設整備	1-2-3-2-02	生涯学習関連施設の充実	生涯学習総合センター、中央図書館など	公民館や図書館をはじめとした生涯学習関連施設について、施設の機能を適切に維持し、長寿命化を図るとともに、利用者の安心・安全を確保するため、適切な維持管理や改修工事を計画的に実施する。	公民館施設リフレッシュ計画及び図書館施設リフレッシュ計画にもとづき、実施設計を公民館2館、図書館3館、工事を公民館2館、図書館1館で実施した。また、空調機等の修繕を実施し、適切な施設の維持管理を図った。	A: 達成された(85%以上)	修繕による適切な維持管理やリフレッシュ計画に基づく設計・工事を完了したことからAとした。	B: 現状維持	引き続き、リフレッシュ計画に基づき、老朽化した公民館・図書館の改修工事を計画的に進めるためBとした。	
96				③既存施設の有効活用・機能の充実	1-2-3-3-02	レファレンスサービスの充実	図書館	レファレンスサービスを支える資料の充実をめぐる。また、継続的に職員研修を行い、調査技術の向上を目指す。市民の関心が高い様々なテーマについて、資料の探し方や使い方をまとめた「パスファインダー」を発行する。寄せられたレファレンスの質問のうち、さいたま市に関する事例や問い合わせの多い事例については、国立国会図書館の運営するレファレンス協同データベースに登録して市民が閲覧できるようにする。パスファインダーや資料紹介についてもホームページに掲載し、課題を解決する手がかりを増やしていく。	・レファレンス協同データベースにレファレンス事例を188件登録し、市民がホームページで閲覧できるようにした。 ・パスファインダーを14タイトル作成した。 ・レファレンス研修会を20回開催した。	B: ほぼ達成された(70%以上85%未満)	数値目標の80%に達したため。	B: 現状維持	研修を通して業務に必要な知識を習得することで多様なレファレンスに対応する。	
97				③既存施設の有効活用・機能の充実	1-2-3-3-03	関連機関(公共機関・民間機関・NPO)との連携	図書館	県立図書館や県内市町村立図書館と連携し、相互貸借による希少な資料の提供や、地域資料などの分担収集・保存を行う。また、大学図書館や研究機関と連携し、より専門的な調査の充実を図る。市の関連部局との協力や、保育園・学校・博物館・美術館などの教育・文化・福祉施設と連携したおはなし会や講座を行った。	県立図書館や県内市町村立図書館との連携として、資料8,554点を市外図書館へ相互貸借により提供した。また、市の関連部局と協力した資料展示や、保育園・学校・博物館・美術館などの教育・文化・福祉施設と連携したおはなし会や講座を行った。	A: 達成された(85%以上)	数値目標を達成したため。	B: 現状維持	引き続き、市の関係部局との協力や、保育園・学校・博物館・美術館などの教育・文化・福祉施設と連携した事業を行う。	
98				③既存施設の有効活用・機能の充実	1-2-3-3-04	多様な市民ニーズに応える図書館機能の充実	図書館	市民ニーズに応える資料を収集・保存するとともに、市民の課題解決に役立つサービスの充実とPRに努める。	・個人貸出点数9,253,983点 ・図書資料受入数147,588点 ・電子書籍の所蔵数7,392タイトル ・地域資料のデジタル化の所蔵数105冊 ・図書館のホームページから各館のテーマ展示を紹介する情報を発信	A: 達成された(85%以上)	数値目標の91%に達したため。	B: 現状維持	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため2か月間の臨時休館となり、貸出点数が減少すると考えられるが、感染対策をしながら通常の利用に近づけ、電子書籍の充実など対策を行っていくことで現状維持を図っていく。	
99				④ICT(情報通信技術)の活用	1-2-3-4-01	ICT(情報通信技術)を活用したサービスの充実(再掲)	図書館	図書館ホームページを充実させ、情報提供サービスの利便性を向上させる。また、データベースの利用技術の講習などを行い、市民の情報収集能力の向上を図る。	・各館のテーマ資料展示の様子や、ブックリストをホームページに掲載した。 ・国会図書館の図書館向けデジタル化資料送信サービスを実施した。	B: ほぼ達成された(70%以上85%未満)	数値目標の76%に達したため。	B: 現状維持	継続して幅広い情報提供の機会を提供するため。	
100	II 活かせる	1 人材の育成	(2) 地域活動のための人材育成	①学習成果の評価	2-1-1-1-01	「自分発見!」チャレンジupさいたま	生涯学習振興課	小学生から18歳までの青少年が体験活動・ボランティア活動を行うことで、可能性を伸ばすとともに、豊かな人間性を培い、社会性やコミュニケーション能力の向上を図ることにより、青少年の主体的な社会参画を促進する。	小学生から18歳までの青少年が体験活動・ボランティア活動を行うことで、可能性を伸ばすとともに、豊かな人間性を培い、社会性やコミュニケーション能力の向上を図ることにより、青少年の主体的な社会参画を促進する。	A: 達成された(85%以上)	小6は20.8%、中3は24.6%となり、実績が目標数値の85%以上に達したため。	A: 拡大・充実	引き続き、目標値のポイント上昇を目指す。	
101				①人材育成の推進	2-1-2-1-01	地域ICT人材育成事業	情報政策部(ICT政策担当)	だれもが、簡単・便利にICTによる恩恵を受けられ、また、ICTの活用による地域活力向上を図るため、地域ICT人材の育成を図るなど、市民間の情報格差解消に向けた取組を進める。	地域ICTリーダーが独自に行う活動が18回行われたほか、地域ICTリーダー養成講座3回、地域ICTリーダースキルアップ講座を6回開催した。	D: 達成されていない(50%未満)	地域ICTリーダーが独自に行う活動回数はPC貸出回数により把握しており、PC貸出回数が減少して、数値目標を達成できなかったため。	C: 見直し	地域ICTリーダーから地域での独自活動の仕方がわからないという意見があったため、地域での活動体験をする講座開催数を増やす等講座内容の見直しを行う。	
102				①人材育成の推進	2-1-2-1-02	手話通訳者養成講習会	障害支援課	聴覚障害者の自立を支援し、社会参加を主体的に行えるようにするため、手話語彙、手話表現技術及び基本技術を習得した手話通訳者を養成する講習会を開催する。	手話通訳者養成講習会開講時人数 ①(通訳Ⅰコース) 2会場 合計28名 ②(通訳Ⅱコース) 2会場 合計16名 ③(通訳Ⅲコース) 2会場 合計10名【令和元年度新設】	A: 達成された(85%以上)	数値目標は下回ったものの、目標の97%以上に達したため。	E: 縮小	新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、令和2年度は例年より規模を縮小して実施するため	
103				①人材育成の推進	2-1-2-1-03	要約筆記者養成講習会	障害支援課	手話の理解できない聴覚障害者の生活及び関連する福祉制度の理解と認識を深めるとともに、要約筆記を行うために必要な知識及び技術を習得するための講習会を開催する。	要約筆記者養成講習会開講時人数 9人	C: あまり達成されていない(50%以上70%未満)	数値目標は下回ったものの、目標の60%以上に達したため。	E: 縮小	新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、令和2年度は例年より規模を縮小して実施するため	
104				II 活かせる	2 成果を活かす仕組みづくり	(1) 学習成果の活用機会の拡充	①学習成果の発表機会の拡充	2-2-1-1-01	さいたま市消費生活展の開催(再掲)	消費生活総合センター	市内で自主的に活動している消費者団体に日頃の活動・研究の成果を発表する場を提供するとともに、事業者団体の参加も得て、広く消費生活情報を提供し消費生活に関する啓発を図る。	さいたま新都心駅東西自由通路での開催を予定していた第19回さいたま市消費生活展が台風19号の影響で中止となり、規模縮小及び桜区役所との調整のうえ、「桜区交通・防犯フェア内消費生活展」として開催(消費生活に関するパネル展示、クイズラリー、ステージイベント等)。参加団体7団体、桜区交通・防犯フェア全体での来場者数2,000人。	C: あまり達成されていない(50%以上70%未満)	台風の影響により中止を決定したものを、「桜区交通・防犯フェア」内で同時開催することにより、消費生活展を実施することはできたが、当初の計画より事業規模を縮小したことで来場者数が目標を達成できなかったため。
106	II 活かせる	2 成果を活かす仕組みづくり	(1) 学習成果の活用機会の拡充	①学習成果の発表機会の拡充	2-2-1-1-02	市民ギャラリーの活用	文化振興課	文化芸術活動を行う市民または団体、及び一般市民を対象に、身近な場所で成果発表の場や鑑賞機会の提供をできる機会を設ける。	文化芸術活動を行う市民または団体を対象として、市役所東側広場にある市民ギャラリーを1週間単位で無料で貸し出し、日頃の活動成果発表の場や鑑賞機会を提供した。	B: ほぼ達成された(70%以上85%未満)	新型コロナウイルスの影響により5団体が展示の中止を余儀なくされたため。	B: 現状維持	市民ギャラリーは日頃の文化・芸術活動の作品を展示する身近な場所であり、事業を継続していくことで更なる文化・芸術活動の推進を図るため。	

生涯学習関連事業実施状況調査表(2次計画)

No.	第2次計画施策体系				体系番号	関連事業名	事業担当課	①事業の概要等	②令和元年度の事業実績		③令和元年度の目標達成度		④令和2年度の事業の方向性	
	目標	基本方針	方向性	基本施策					事業の内容	達成度	達成度を左のとおりとした理由	方向性	事業の方向性を左のとおりとした理由	
107	II	成果を活かす仕組みづくり	(1) 学習成果の活用機会の拡充	①学習成果の発表機会の拡充	2-2-1-1-03	ユーモアフォトコンテストの実施(プラザノース)	文化振興課	写真講座への参加者が応募できる1つの機会として、ユーモアフォトコンテストを実施する。	①11/16～24「さいたま市ユーモアフォトコンテスト(展示)参加1,586人(国際漫画フェスティバル等含む) ②11/16・17(計4回)「プロのカメラマンが教える撮影講座 こんとき、どう撮るの!? 教えてプロカメラマン」参加37人 ③11/24「ネコ写真家・沖昌之トークショー『写真集 必死すぎるネコの撮影秘話』」参加62人 ④9/26～11/10「ユーモアフォトコンテスト歴代入賞作品展」(人数カウントなし)	B: ほぼ達成された(70%以上85%未満)	応募者数、応募作品は増加した。しかし、開催日程を後ろ倒しした事もあり、平日集客・イベント集客で苦戦した。	B: 現状維持	事業内容はさいたま市の文化を発信するものとして重要であり、引き続き応募者数・作品点数増、イベント・展示参加者増を目指す。コロナ環境下での開催であり入場者制限等を考慮し、現状維持を目標とする。	
108					2-2-1-1-04	さいたま市民文芸の発刊	文化振興課	市内在住・在勤・在学者対象の公募。詩、短歌、俳句、川柳、小説・随筆・評論の5部門で作品を募集し、入選作品を掲載した「さいたま市民文芸」を刊行する。	市内在住・在勤・在学者対象の公募。詩、短歌、俳句、川柳、小説・随筆・評論の5部門で作品を募集し、入選作品を掲載した「さいたま市民文芸」を刊行した。	A: 達成された(85%以上)	目標値を上回ったため。	B: 現状維持	事業の実施内容に大きな変更がないため。	
109					2-2-1-1-06	さいたま市美術展覧会の充実	文化振興課	広く市民の美術思想の普及と創造的表現力の開発をはかり、もって本市の文化芸術の振興に寄与するため開催する。 日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真の6部門で市民から作品を募集し、選考の上、3期に分けて展示する。第1期～第3期終了後、上位の受賞作品を展示する選抜展を開催する。	(1回目)10月8日(火)～10月13日(日) (2回目)10月15日(火)～10月20日(日) (3回目)10月22日(火・祝)～10月27日(日) (選抜展)10月29日(火)～11月3日(日・祝) 会場…うらわ美術館	B: ほぼ達成された(70%以上85%未満)	目標値には達しなかったが、目標値の80%を超えたため。	B: 現状維持	事業の実施内容に大きな変更がないため。	
110					2-2-1-1-07	ジュニアソロコンテストの開催	文化振興課	小・中学生を対象とした、金管バンド・吹奏楽で使用される管楽器・打楽器・コントラバスのソロコンテストを開催する。	応募期間: 令和元年11月15日～12月14日 予選: 令和2年2月1日、2日 本選: 令和2年2月16日 会場…予選: 市内コミュニティセンター、文化施設 本選: 文化センター	A: 達成された(85%以上)	応募者数が目標を上回ったため。	B: 現状維持	コンテストの認知度も高まり、規模も大きくなってきたため、引き続き現状の応募者数を維持することが望ましい。	
111					2-2-1-1-08	市民音楽祭の開催	文化振興課	音楽の普及発展と市民の芸術への参加意欲を喚起する目的で開催される市民音楽祭の開催を支援する。	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止した 【当初予定】 開催日: 令和2年3月8日(日) 会場: 文化センター	E: 実施していない	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止したため。	B: 現状維持	観客数、出演団体数ともに安定しているため。	
112					2-2-1-1-09	シルバー作品展覧会事業	高齢福祉課	60歳以上の方を対象に、作品(書・絵画・写真・手工芸・文芸(俳句・短歌・川柳等))を公募し、市内2会場作品展示会を開催する。	(浦和会場)埼玉会館第3展示室 日時: 令和元年11月19日(火)～令和元年11月21日(木) (大宮会場)プラザノース ノースギャラリー 日時: 令和元年12月4日(水)～令和元年12月6日(金)	A: 達成された(85%以上)	展示目標700点に対し実績が618点であり、85%以上を達成したため。当事業により高齢者の創作意欲が高まり、生きがいにつながっていると考えるため。	F: 廃止・休止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止した。	
113					2-2-1-1-10	公民館文化祭	公民館	地域住民の交流と文化の向上を目的として、公民館で活動する文化団体・サークルを中心とした文化祭を実施する。	公民館において、文化団体・サークルを中心とした文化祭を実施し、地域住民との交流、文化の向上を図った。	B: ほぼ達成された(70%以上85%未満)	目標数値をほぼ達成したため、Bとした。	B: 現状維持	地域のニーズの把握・分析に努め、引き続き事業を実施していくためBとした。	
114					2-2-1-1-11	若田名誉館長杯ロボット大会	青少年宇宙科学館	ローバーロボット大会: 1チーム2名で参加。火星探査をイメージしたローバー(探査)ロボットでミッションをクリアし、ゴールを目指す。 キャリアシュートロボット大会: 1チーム2名で参加。制限時間内にボールを所定の場所に入れ得点を競う。	8月25日のキャリア・シュートロボット大会2019において、小学生の部46人、中学生の部78人の参加があった。アンケートの結果、「とても楽しかった」「楽しかった」と答えた参加者の割合は、小学生の部95%、中学生の部96%、合計で約96%だった。	A: 達成された(85%以上)	R1年度の大会では、参加者の満足度が約96%となり、ロボット大会を通して事業の目的である科学技術への興味・関心を高めることが図れている。	F: 廃止・休止	新型コロナウイルス感染症拡大防止の措置のため、今年度は開催を中止した。	
115					2-2-1-1-12	展示室の貸し出し	うらわ美術館	絵画や工芸などの美術作品を創作している市民の発表の場として、展示室の貸し出しを行っている。	4月前半と令和2年2・3月に延べ6週間にわたり、一週間単位でA・B・C・Dの展示室の貸し出しを行った。利用は、延べ3団体の利用があったが、新型コロナウイルス感染拡大防止による臨時休館に伴い延べ8の団体等への貸し出しが中止となった。	D: 達成されていない(50%未満)	新型コロナウイルス感染拡大による臨時休館に伴う貸し出しの中止の影響もあり目標としていた利用率を下回ったため。	B: 現状維持	利用申請の増減の波があるが、毎年美術作品を創作している市民団体等の発表の場として利用されていることから、利用率を上げる努力をしながら事業を維持していきたい。	
116					2-2-1-1-13	区の花バラの写真展	中央区コミュニティ課	さいたま市在住、在勤、在学の方を対象に、中央区内で撮影した「バラ」の写真を集め、中央区役所ロビーに展示するとともに、優秀な作品について表彰を行う。	214作品の応募があり、入賞及び入選作品を区役所ロビーにて展示、ホームページに掲載しました。	A: 達成された(85%以上)	目標の応募作品数が達成されたため。	C: 見直し	新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受け、開催時期の見直し等を行ったため。	
117					2-2-1-2-01	体験学習ボランティア活用事業	博物館(市立博物館)	小学生を対象とした体験学習で、昔の道具の使い方や昔の暮らしについての説明と体験の補助をするボランティアを活用する。	10月2日から2月21日までに市外3校を含む37校の主に小学校3年生を対象とした社会科見学、体験学習で「石臼・薬研・竿ばかり」「あかりの道具の移り変わり」などの講師をしていただいた。	C: あまり達成されていない(50%以上70%未満)	各小学校の体験学習日と活動ボランティアの日程が合わず、数値目標に対して約59%の数値実績だったため。	A: 拡大・充実	博学連携を推進していく上で、より博物館の積極的な活用または専門家や関係者との連携を十分に図っていく必要があるため。	
118					2-2-1-2-02	ボランティアの活用	生涯学習総合センター・公民館	公民館の講座・事業において、ボランティアを活用する。	生涯学習総合センター及び公民館において、生涯学習相談・おもちゃの病院・公民館だより編集などの事業でボランティアの方に参加いただいた。	A: 達成された(85%以上)	目標数値を達成したため、Aとした。	B: 現状維持	地域のニーズの把握・分析に努め、引き続き事業を実施していくためBとした。	

生涯学習関連事業実施状況調査表(2次計画)

No.	第2次計画施策体系				体系番号	関連事業名	事業担当課	①事業の概要等	②令和元年度の事業実績	③令和元年度の目標達成度		④令和2年度の事業の方向性	
	目標	基本方針	方向性	基本施策					事業の内容	達成度	達成度を左のとおりとした理由	方向性	事業の方向性を左のとおりとした理由
119	Ⅱ 活かせる	2	成果を活かす仕組みづくり	(1) 学習成果の活用機会 ②生涯学習関連施設等での人材活用促進	2-2-1-2-03	読書ボランティアの養成と支援	図書館	初心者向けの養成講座や活動中のボランティア向け講座などを実施し、子どもと本を結びつけるために必要な知識・技術の習得や、活動の充実と活性化のため、支援を行なう。	・ストーリーテリング入門/実践講座 ・読み聞かせスキルアップ講座 ・おはなしスタッフ養成講座 ・小学校の読み聞かせボランティア指導	A: 達成された(85%以上)	数値目標の87%に達したため。	B: 現状維持	継続してボランティア育成及び支援を行う必要があるため。
120					2-2-1-2-04	農作業体験の充実	博物館(浦和くらしの博物館民家園)	市民ボランティアの体験学習の場として園内の畑でさいたま市ゆかりの作物を育成するとともに、民家園内の景観を維持する。	ボランティアの活動を講座に生かし、園内の景観を維持につなげた。	A: 達成された(85%以上)	達成度が目標数値を超えたため。	E: 縮小	コロナウイルスの影響で臨時休館になったことで回数が減り、また、密を避けるため従前どおりのやり方ができず、検討が必要。
121					2-2-2-1-01	セカンドライフ支援事業	高齢福祉課	おおむね50歳以上の市民を対象に、ボランティア・就労・地域活動に関する情報を集約して発信する、セカンドライフ支援センターを開設する。 シルバーバンク事業から行っているボランティアマッチングを継続して実施する。	令和元年9月2日にセカンドライフ支援センターを開設しました。セカンドライフ支援センター(旧シルバーバンク)に登録しているボランティア活動を希望する方と、ボランティアを募集する施設や団体とのマッチングを行いました。 ・マッチング成功数 766人 開設後からセカンドライフ支援に関する相談を行いました。 ・相談件数 755件	A: 達成された(85%以上)	セカンドライフ支援センターを開設し、相談を受け付けたところ目標の700件に対して755件の相談があり、目標を上回ったためAとしました。	B: 現状維持	令和元年度に窓口を開設したところであり、現状で事業を行っていくため。
122					2-2-2-1-02	生涯学習人材バンク事業	生涯学習振興課	生涯学習に関する専門的な知識や技能、経験等を有している人材の情報を公開し、学習したい利用グループに紹介する。	生涯学習情報システムで登録者情報を公開するとともに、生涯学習人材バンク登録者名簿を作成し、公民館、図書館、各区情報公開コーナー等に配布した。	A: 達成された(85%以上)	シニアユニバーシティやチャレンジスクール、公共施設等に利用依頼を行うなど様々な周知を図った結果、マッチング数が142件となり目標を上回ったため。	C: 見直し	引き続き周知に努め、マッチング件数の増加を目指す。 なお、今年度はコロナウイルス感染症予防の観点から、事業規模を見直すこととする。
123	Ⅲ つながる	1	学びでつながる	(1) 学びの仲間づくり	3-1-1-1-01	シニアユニバーシティ	高齢福祉課	60歳以上の高齢者を対象に、1年制の大学及び大学院を実施。講義やイベントを通じて学生間の親睦を図り、地域の仲間づくり、社会参加、生きがいづくりを推進する。	市内在住の60歳以上の方を対象としたシニアユニバーシティを実施しました。また、卒業生で構成される校友会連合会に補助金を交付しました。 ・卒業生数 大学 411人 大学院 318人	A: 達成された(85%以上)	評価指標(参加者の事業満足度)について、目標91.0%に対して実績が94.2%であり、達成度は104%であるためAとした。	B: 現状維持	高い満足度を得られている事業であり、引き続き多くの高齢者が受講することで、生きがいづくりを促進する。
124					3-1-1-1-02	会津高原の夏・家族の集い	館岩少年自然の家	市内在住、在勤の家族を対象とした主催事業。館岩少年自然の家を中心に様々な自然体験活動や集団宿泊体験を行うことで、南会津の雄大な自然を満喫し家族・親子の絆を深め、参加者相互の交流を図ることを目的とする。	18家族総数61人(保護者23人、小学生33人、中学生5人)の参加があった。	A: 達成された(85%以上)	アンケートの集計結果が全て大変満足もしくは満足(暑さによるもの)だったため。	F: 廃止・休止	新型コロナウイルスの感染防止のため、今年度は実施を休止としたため。
125					3-1-1-1-03	白銀の会津高原・家族の集い	館岩少年自然の家	市内在住、在勤の家族を対象とした主催事業。自然豊かな南会津の地において、雪国の生活や雪中活動にふれ、感動を共有し、家族の絆を深め、参加者相互の交流を図ることを目的とする。	10家族30人(大人16人、中学生3人、小学生11人)の参加があった。	A: 達成された(85%以上)	アンケートの集計結果が全て大変満足もしくは満足(暑さによるもの)だったため。	F: 廃止・休止	新型コロナウイルスの感染防止のため、今年度は実施を休止としたため。
126				3-1-1-2-01	若者自立支援ルーム(再掲)	青少年育成課	社会生活を送る上で困難を抱える子ども・若者に対し、「若者自立支援ルーム」において、自立に向けた様々なプログラムの実施や地域社会との関わりを促すことにより、円滑に自立が果たせるよう支援を行う。	若者自立支援ルームにおいて、利用者の状態に合わせた自立支援プログラムを段階的に実施し、円滑な自立が果たせるよう支援を行い、年間延べ7,046人の利用があり、54名が次のステップへ進むことができた。	B: ほぼ達成された(70%以上85%未満)	目標人数は達成できなかったが、施設の移転による環境の変化や、新型コロナウイルス感染防止のため1か月の閉所等があったものの、目標人数の80%を達成できたため。	A: 拡大・充実	引き続き、利用者へ個々の状態に合わせた自立支援プログラムを段階的に実施し、自立に向けた支援を行うとともに、令和2年度より、2か所目の若者自立支援ルームを開設し、受入れ体制を拡充する。	
127				3-1-1-2-02	子育てサロンの充実	生涯学習総合センター・公民館	都市化・核家族化に対応し、親子で気軽に参加できる親子の遊びの広場である子育てサロンを設置する。	生涯学習総合センター及び公民館において、子育てサロンを開催した。	A: 達成された(85%以上)	目標数値を達成したため、Aとした。	B: 現状維持	地域のニーズの把握・分析に努め、引き続き事業を実施していくためBとした。	
128	(1) 学びの仲間づくり	③活動団体の交流促進	3-1-1-3-01	市民活動サポートセンターにおける市民活動支援の充実	市民協働推進課	NPOやボランティア団体などの活動を支援するための拠点施設である市民活動サポートセンターの管理運営を行い、市民活動支援を実施する。	・イベントの開催 「団体紹介パネル展示」夏 参加団体:9団体 冬 参加団体:8団体 「共助社会づくりの担い手フォーラム(埼玉県との共催)」(11月26日) 参加人数:89人 「市民活動交流カフェ」(1月18日) 参加人数:25人 ・セミナーの開催 「印刷作業室体験会」(10月15日・10月17日・10月31日) 参加延べ人数:11人 「NPO法人設立セミナー」(5月27日・8月27日・11月22日) 参加延べ人数:53人 「広報セミナー」(10月26日・10月30日・11月25日) 参加延べ人数:44人 ※11月25日は西区コミュニティ課との共催 「ファンディングセミナー(埼玉県との共催)」(8月27日・10月11日・10月25日・12月3日) 参加延べ人数:74人 「セカンドライフセミナー」(2月9日) 参加人数:50人 ・市民活動団体を対象とした「会計・税務相談」、「法律相談」を計53回開催 相談件数:164件	A: 達成された(85%以上)	目標に対し、93%の達成率となったため。	B: 現状維持	市民活動をより活性化させるため、引き続き交流イベントやセミナー等を実施していく。		
129			3-1-1-3-02	公民館文化祭(再掲)	公民館	地域住民の交流と文化の向上を目的として、公民館で活動する文化団体・サークルを中心とした文化祭を実施する。	公民館において、文化団体・サークルを中心とした文化祭を実施し、地域住民との交流、文化の向上を図った。	B: ほぼ達成された(70%以上85%未満)	目標数値をほぼ達成したため、Bとした。	B: 現状維持	地域のニーズの把握・分析に努め、引き続き事業を実施していくためBとした。		

生涯学習関連事業実施状況調査表(2次計画)

No.	第2次計画施策体系				体系番号	関連事業名	事業担当課	①事業の概要等	②令和元年度の事業実績		③令和元年度の目標達成度		④令和2年度の事業の方向性	
	目標	基本方針	方向性	基本施策					事業の内容	達成度	達成度を左のとおりとした理由	方向性	事業の方向性を左のとおりとした理由	
130	Ⅲ つながる	1	地域が支える教育の充実	①学校・家庭・地域の連携強化	3-1-2-1-01	スクールサポートネットワーク推進事業	生涯学習振興課	事業の中心的な役割を担う学校地域連携コーディネーターを全ての市立小・中・特別支援学校へ配置するとともに、スクールサポートネットワーク協議会(SSN協議会)を設置し、学校と地域諸団体等との情報の共有化、学校支援ボランティアによる教育支援活動を行う。	学校地域連携コーディネーターに対する研修会を2回、情報交換及び協議会を3回及び地域学校協働活動シンポジウム実施した。 また、教育委員会が発行した「スクールサポートネットワーク(地域学校協働本部)ガイドブック」を活用することで、より多くの幅広い地域住民、団体等が学校と協働して行う地域学校協働活動の充実を図った。	A: 達成された(85%以上)	さいたま市学習状況調査における、「保護者や地域の人の学校支援ボランティア活動は、学校の教育水準の向上に効果がありましたか」の質問に、「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」と回答した小学校が100%、中学校が100%であり、目標の85%以上を達成したため。	B: 現状維持	学校と地域の連携・調整や多様な活動の企画・調整等を担う学校地域連携コーディネーターを配置するとともに、より多くの幅広い層の地域住民、団体等が参画したスクールサポートネットワークによる地域学校協働活動を推進するため。	
131					3-1-2-1-02	チャレンジスクールの推進	生涯学習振興課	子どもたちにとって、より豊かで有意義な放課後や土曜日等の実現を図るため、地域の方々の参画を得て、多様な学習、文化やスポーツ、体験活動等の機会を提供するチャレンジスクールを推進する。	小学校において、放課後チャレンジスクールを2,424回、土曜チャレンジスクールを1,434回実施し、延べ参加児童生徒数は146,084人だった。また、中学校において、土曜チャレンジスクールを1,238回実施し、延べ参加児童生徒は22,479人だった。	B: ほぼ達成された(70%以上85%未満)	延べ参加児童生徒数が168,563人であり、目標の70%以上を達成したため。	B: 現状維持	引き続き、子どもたちにとって、より豊かで有意義な放課後や土曜日等の実現を図るため、チャレンジスクールを推進していく。	
132					3-1-2-1-03	PTA活動との連携	生涯学習振興課	PTA活動の振興とその円滑な事業推進を目的として、社会教育関係団体補助金を交付する。	補助金交付:1,650千円	A: 達成された(85%以上)	補助金交付により、PTA活動の振興と円滑な事業推進に貢献している。	B: 現状維持	子どもたちの健全育成のため、学校・家庭・地域の連携は重要であり、その要となるPTA活動に対し、引き続き支援していくことは必要である。	
133				3-1-2-2-02	学校巡回展	博物館(市立博物館)	市内小学校を対象に社会科・生活科に対応するテーマのパネルや実物資料を1週間程度巡回展示する。	4月9日から10月31日までの期間内に「縄文時代のさいたま市」「古墳時代のさいたま市」「井沢弥惣兵衛と見沼代用水・昔のおもちゃ」「たていわのくらし」をテーマとした巡回展を61校で実施した。	A: 達成された(85%以上)	数値目標を上回る数値実績を達成することができた。また、アンケートでの「学習への活用」に関する項目では全体で84%の学校で「非常に活用できた」という回答を得られたため。	E: 縮小	5月31日まで臨時休校が続き、4・5月に「たていわのくらし」の学校巡回展を予定していた学校がすべて巡回展を中止してしまったため。さらに2学期以降も館舎自然の教室が実施されない場合は、巡回展中止の可能性があるため。その他のテーマについては6月以降の学校は予定通り実施。		
134				3-1-2-2-03	学校図書館との連携	図書館	学校図書館支援センターを通じて、資料や情報提供による学校図書館への支援と連携を進める。	・学校図書館を支援するため、教科関連資料の貸出しを実施	A: 達成された(85%以上)	数値目標の87%に達したため。	B: 現状維持	継続して学校図書館及び図書館司書を支援していく必要があるため。		
135				3-1-2-2-04	小学校4年生 中学校3年生 学習利用	青少年宇宙科学館	プラネタリウムを活用した学習で天体の動きを視覚的にとらえ、天体に関する理解を深める。また、問題解決的な学習や体験的な学習を通して、天文や科学について興味・関心を高めながら理科学習を行う。全ての市立小・中・特別支援学校の児童生徒が悉皆学習として取り組んでいる。	各学校が提出する実施報告書の評価(4段階)「A」の割合は、必修であるプラネタリウム投影の項目において、小学校・中学校あわせて約94%だった。	A: 達成された(85%以上)	R1年度では、小学校・中学校のプラネタリウム学習利用者の満足度が約94%となり、さいたま市内の児童・生徒への宇宙に対する興味・関心を高めることが図れている。	G: その他	新型コロナウイルス感染症拡大防止の措置のため、プラネタリウムを活用した学習利用は延期または中止となるが、リーフレットや動画コンテンツの作成、出前授業の実施等により、学習の保障を行う。		
136				3-1-2-2-05	スクール・サポート・サイエンス事業	青少年宇宙科学館	さいたま市立小・中学校に青少年宇宙科学館の職員を派遣し、理科の基礎的・基本的な内容を踏まえた授業や、天文に関する発展的な学習についての指導支援を行っている。	各学校が提出する実施報告書の評価(4段階)「A」の割合は、3年生出前授業、6年生出前授業、天体観望会をすべてあわせて約96%だった。	A: 達成された(85%以上)	R1年度では、出前授業・天体観望会参加者の満足度が約96%となり、さいたま市内の児童・生徒への理科に対する興味・関心を高めることが図れている。	A: 拡大・充実	各校のニーズに応えるために、出前授業の種類を増やす予定である。		
137				3-1-2-2-06	サイエンスフェスティバル	青少年宇宙科学館	さいたま市内の中学校・高等学校の科学部が集まり、屋台形式の科学的なものづくりワークショップを来館者に体験していただく機会を設けることで、中高生の活躍の場の提供と活動に対する成就感を味あわせる。	参加生徒のアンケートによる評価(4段階)「とてもできた」「できた」の割合は96%だった。	A: 達成された(85%以上)	R1年度では、参加者の満足度が約96%となり、さいたま市内の生徒が積極的に科学の楽しさを来館者に伝えることが図れている。	A: 拡大・充実	新型コロナウイルス感染症拡大防止の措置のため、サイエンスショー・動画のコンテンツとして、市内中学校・高等学校を対象とし、実施するため。		
138				3-1-2-2-07	中高生科学館ボランティア	青少年宇宙科学館	「夏休み子ども科学館まつり」の運営を担う博物館実習生と共に、ワークショップを支援することにより、科学館の活動についての理解を図り、中学生・高校生との連携を深めるとともに、青少年の健全育成に努める。	参加生徒のアンケートによる評価(4段階)「とてもできた」「できた」の割合は98%だった。	A: 達成された(85%以上)	R1年度では、参加者の満足度が約98%となり、さいたま市内の生徒が意欲的にボランティア活動に取り組むことが図れている。	G: その他	新型コロナウイルス感染症拡大防止の措置のため、ボランティアの活動日や活動時間を制限し、感染予防対策を徹底したうえで実施する。		
139				3-1-2-3-01	大学公開講座の充実	生涯学習振興課	市内の大学や短期大学の持つ機能を市民に開放し、地域と大学の連携を図るとともに、市民の高度で専門的な学習要求に応えるため講座を設置する。	①埼玉大学「伝えたい社会科学」(全8回) ②聖学院大学「地域社会／国際社会における多様性」(全10回) ③国際学院埼玉短大「子育てカバリアップ講座」(4回)など ④目白大学「こころ健やかに、地域で生きる」(全10回)	A: 達成された(85%以上)	大学の持つ教育資源を生かした、高度で専門的な講座を開設することができた。	C: 見直し	今後も市民の持つ高度かつ専門的な学習意欲に応えられるような講座を開設していくため、各大学に働きかけを行い、魅力ある講座を設置していく予定である。 なお、今年度は新型コロナウイルス感染症予防の観点から、事業規模を見直すこととする。		
140				3-1-2-3-02	さいたま市消費生活展の開催(再掲)	消費生活総合センター	市内で自主的に活動している消費者団体に日頃の活動・研究の成果を発表する場を提供するとともに、事業者団体の参加も得て、広く消費生活情報を提供し消費生活に関する啓発を図る。	さいたま新都心駅東西自由通路での開催を予定していた第19回さいたま市消費生活展が台風19号の影響で中止となり、規模縮小及び桜区役所との調整のうえ、「桜区交通・防犯フェア内消費生活展」として開催(消費生活に関するパネル展示、クイズラリー、ステージイベント等)。参加団体7団体、桜区交通・防犯フェア全体での来場者数2,000人。	C: あまり達成されなかった(50%以上70%未満)	台風の影響により中止を決定したものを、「桜区交通・防犯フェア」内で同時開催することにより、消費生活展を実施することはできたが、当初の計画より事業規模を縮小したことで来場者数が目標を達成できなかったため。	B: 現状維持	第19回さいたま市消費生活展の開催中止とそれに伴う桜区交通・防犯フェア内消費生活展としての縮小開催は台風19号の影響による一過性のものであり、市内消費者団体の活動・研究成果の発表の場及び消費生活情報の啓発の場として、消費生活展を開催する必要があると考えられるため。		
141				3-1-2-3-03	文化事業の開催	図書館	ボランティアや市民団体との協働により、市民のアイデアを生かした事業を企画・開催し、市民の文化活動や読書活動を支援する。	・講座、講演会、映画会、展示会などを開催し、アンケートにより市民のニーズの把握に努めた。 ・読み聞かせボランティアによるおはなし会、図書館友の会の企画による講座などを実施した。	A: 達成された(85%以上)	数値目標を達成したため。	B: 現状維持	引き続き、市民のニーズの把握に努め、実施していく。		

生涯学習関連事業実施状況調査表(2次計画)

No.	第2次計画施策体系				体系番号	関連事業名	事業担当課	①事業の概要等	②令和元年度の事業実績		③令和元年度の目標達成度		④令和2年度の事業の方向性	
	目標	基本方針	方向性	基本施策					事業の内容	達成度	達成度を左のとおりとした理由	方向性	事業の方向性を左のとおりとした理由	
142	Ⅲ つながる	2 地域づくり・まちづくり	(2) 地域が充実に支える教育の	③市民・事業者等との連携	3-1-2-3-04	図書を通じた関連団体との連携	図書館	朗読、読み聞かせ、映画上映などを行うボランティア団体及び図書館友の会などの図書館活動を支える市民と連携した活動、共催事業を実施する。また、地域との協働を積極的に進め、地域コミュニティの中での図書館の可能性を広げるとともに、市民参加を促す活動を行う。	図書館友の会などボランティアの協力により、おはなし会や講座の開催、録音図書や点字図書の複製、図書の修理、書架の整理など、市民参加による活動を行った。	B: ほぼ達成された(70%以上85%未満)	事業数は数値目標に届かなかったものの、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための休館を余儀なくされた中で、延実施回数は数値目標の98%に達したため。	B: 現状維持	引き続き、関連団体と連携していく。	
143					3-1-2-3-05	大学コンソーシアムさいたま加盟大学の公開講座	行財政改革推進部	市民等の高度で専門的かつ多様な学習要求に応えるため、各大学が共通のテーマを設定し、また各々の特色を活かし、大学コンソーシアムさいたま加盟大学が実施する公開講座について、広報等の支援を行う。	①埼玉大学「埼玉大学連続市民講座part10「未来を照らす一知の最前線」」など ②埼玉県立大学「損なわれた関係を正し修復するRJ対話体験会」など ③芝浦工業大学「自分たちで創る明るい未来都市！～大学生とつくるダンボールシムシティ～」など ④人間総合科学大学「第42回人間総合科学大学 生涯学習公開講座」など ⑤国際学院埼玉短期大学「夏に食べたいおもてなし料理」など ⑥聖学院大学「埼玉税法研究会」	A: 達成された(85%以上)	目標値7校のところ6校から参画があり、85%を超えるため。	B: 現状維持	加盟大学10校すべてが公開講座を積極的に公表する意向ではないが、市としても広報することで市民の知識向上に寄与すると考えられるため、現状維持とした。	
144					3-2-1-1-01	見沼区ふれあいフェア	見沼区コミュニティ課	①地域の特徴を知る ②地域の食文化を知る ③地域の歴史・文化を知る、市民参加型のイベントを実施。	11/9(土) 郷土芸能や文化活動の発表、模擬店の出店(展)、フリーマーケット、子どもコーナー、スポーツコーナー、車両展示コーナー、小中学生絵画展、スタンブラリー	A: 達成された(85%以上)	参加者アンケート満足度目標指数を達成したため。	F: 廃止・休止	新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から、中止を決定したため。	
145					3-2-1-1-02	中央区区民まつり	中央区コミュニティ課	秋の土日2日間、中央区役所周辺を会場とし「コミュニティの輪」をテーマに開催。コミュニティ協議会(コミ協)加入団体の出店・出演を中心に、友好都市の物産販売や多彩なステージが繰り上げられる。	11月2日(土)、11月3日(祝)の2日間で開催し、天候にも恵まれ、多くの市民の方々に来場していただき、無事に開催できた。	A: 達成された(85%以上)	目標の数値が達成されたため。	F: 廃止・休止	新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受け、中央区区民まつりが中止となったため。	
146					3-2-1-1-03	区民が企画・運営する生涯学習塾事業	浦和区コミュニティ課	区民が学習したいテーマについて、自ら講座を企画・運営する活動を行う「コミュニティキャンパス浦和」への支援事業である。団体では、テーマごとの部会で企画会議を随時開催し、年に複数回の講座を開催している。また、事務局を中心に全体会議を月1回開催し、総合的な調整をおこなうとともに、年1回程度の公開講座の企画などを行っている。	浦和お宝探検隊 各種講座……10回 親子であそぼう……3回 チャレンジ！科学あそび……5回 ウクレレ講座……5回 大人の科学……4回 高齢者福祉……3回 スマホ講座……9回 うらわの魅力講座……3回	C: あまり達成されていない(50%以上70%未満)	目標としていた開催回数の90%以上開催することができたが、受講率が前年を下回ったため。	C: 見直し	区民の生涯学習の入口としての役割を果たすとともに、受講率を向上するため、講座内容及び回数を見直しを実施予定であるため。	
147					3-2-1-1-04	南区ふるさとふれあいフェア	南区コミュニティ課	南区における区民意識の醸成、及びふるさとへの愛着、並びに地域住民の連帯を深めることを目的とし、地域の関係団体からなる実行委員会により開催する。 【主な取組】 ・アトラクション(ポニー乗馬、ミニ新幹線 他) ・ステージ(市民活動団体の発表) ・ブース(地元団体等の出店、市民活動団体等の発表)	10月5日(土) 9時30分～15時開催。来場者数 約55,000人 ■主なアトラクション ポニー乗馬、ミニ新幹線、ドローン体験、段ボール迷路、冷凍車体験、50m走測定 ■出店(展)エリア 協賛団体、飲食、物販、展示、体験・工作等、フリマ ■ステージ	A: 達成された(85%以上)	目標を上回る実績を得られたため。	B: 現状維持	区民まつりが定着してきており、テーマである「世代間交流」もなされていることから、継続して実施していくことにより、さらなる地域コミュニティの醸成を図るため。	
148					3-2-1-1-05	岩槻やまぶきまつり	岩槻区コミュニティ課	新たな郷土づくりと郷土意識の醸成及び地域住民の連帯をより一層高めることを目的に区民と協働により、各種団体等によるステージ発表・出店・アトラクションを実施する。	10月13日(日)9:30～15:30岩槻文化公園にて開催予定としていたが、台風19号の接近により中止。 商工会議所、農業団体をはじめ、多くの市民団体、サークルの参加のもと展示、販売、ふれあい移動動物園、ミニSLコーナーなどの催しを予定していた。	E: 実施していない	台風19号の接近により中止したため。	B: 現状維持	区民まつりが定着してきており、引き続き現状どおり実施していくことにより、さらなる地域コミュニティの醸成を図るため。	
149					3-2-1-1-06	さいたま市内の歴史をあるく	博物館(市立博物館)	市内に残された歴史的文化的財を訪ねて郷土の歴史を再認識するとともに、郷土意識の涵養をはかる。	令和2年1月31日に大宮区土手町周辺の史跡を巡る見学会を開催した。	A: 達成された(85%以上)	寒冷な時期の開催ではあったが、同時期に館内特別展示室で開催された「さいたま市の移り変わり展」への関心も高まり、概ね目標値を達成できたと考える。	C: 見直し	屋外実施型イベントであるが、参加者の交通安全への配慮及び講師の解説を聴取するために参加者が密になりやすい環境となっている。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から定員数を削減するなどの工夫が必要となる。	
150					3-2-1-1-07	区の花バラの写真展(再掲)	中央区コミュニティ課	さいたま市在住、在勤、在学の方を対象に、中央区内で撮影した「バラ」の写真を募集し、中央区役所ロビーに展示するとともに、優秀な作品について表彰を行う。	214作品の応募があり、入賞及び入選作品を区役所ロビーにて展示、ホームページに掲載しました。	A: 達成された(85%以上)	目標の応募作品数が達成されたため。	C: 見直し	新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受け、開催時期の見直し等を行ったため。	
151					3-2-1-2-01	市史編さん事業	アーカイブズセンター	さいたま市の歴史の変遷の過程を記録し未来へ継承するため、「さいたま市史」を編さんする。また、歴史資料を収集し、適切に整理・保存するとともに市民共有の知的資源として活用を図る。	『さいたま市史自然編(植物)』(1,000部)、『さいたま市アーカイブズセンター紀要第4号』(500部)の刊行 ・歴史資料の収集・保存・整理・活用	C: あまり達成されていない(50%以上70%未満)	執筆者のやむを得ない理由により民俗編の刊行が延期となり、当初の目標より作成冊数が下回ったため。	C: 見直し	次期総合振興計画実施計画を策定していく中で、目標(作成冊数)について再考していきたい。	
152					3-2-1-2-02	伝統文化講座の実施	文化振興課	伝統文化の専門施設で、気軽に伝統文化に親しめるような入門講座を開催する。また、子供を対象とした講座など、伝統文化を継承する人材育成の視点も含めて実施する。	伝統文化2施設において、茶道6事業、能・狂言5事業、華道2事業、日本舞踊1事業、百人一首2事業、伝統文化1事業の計17事業を実施した。	A: 達成された(85%以上)	様々な伝統文化の講座を世代に合わせて開催し、数値目標に対する実績が達成されたため。	A: 拡大・充実	さいたま市が策定した「さいたま市文化芸術都市創造計画」の基本施策「伝統的・民族的な文化芸術の継承と発展」をふまえ、人材の育成に繋げるに伴い、今後も拡大・充実をはかっていくため。(新型コロナウイルスにより事業が延期又は中止となる可能性あり)	
153					3-2-1-2-03	郷土芸能伝承団体の支援	青少年育成課	青少年を中心に活動している郷土芸能団体に対し、活動を支援する。	当初見込んでいた40団体には届かなかったものの、37団体からの申請があり、補助を行った。	A: 達成された(85%以上)	数値目標の40団体に対し、37団体への交付実績があったため。	B: 現状維持	引き続き、事業の周知を行い、青少年による郷土芸能伝承団体の支援を行っていく。	

生涯学習関連事業実施状況調査表(2次計画)

No.	第2次計画施策体系				体系番号	関連事業名	事業担当課	①事業の概要等	②令和元年度の事業実績		③令和元年度の目標達成度		④令和2年度の事業の方向性	
	目標	基本方針	方向性	基本施策					事業の内容	達成度	達成度を左のとおりとした理由	方向性	事業の方向性を左のとおりとした理由	
154	Ⅲ つながる	2 地域づくり・まちづくり	(一) まちづくり学習の推進	②文化財の活用、伝統文化の継承	3-2-1-2-04	大宮薪能の充実	観光国際課	大宮薪能は、東北・上越新幹線の開業を記念し、地域文化振興と新しい観光の創造をめざし、昭和57年5月に第1回を武蔵一宮氷川神社境内で開催したものであり、以来、市民並びに関係者のご協力と会場である武蔵一宮氷川神社の景観のすばらしさにより、回を重ねるごとに好評を博し、国内でも指折りの薪能とまで評されている。 開催場所：武蔵一宮氷川神社境内	5月25日(土) ・素謡(金春流)翁 金春憲和・能(金春流)敦盛 金春安明・狂言(和泉流)鯛牛 野村万作・能(観世流)鉄輪 武田友志 5月26日(日) ・素謡(金春流)翁 金春安明・能(金春流)嵐山 本田光洋・狂言(和泉流)入間川 石田幸雄・能(宝生流)経政 小林与志郎	A: 達成された(85%以上)	来場者数は目標数値を達成し、市民並びに関係者の協力により事業を実施することで、地域交流と地域経済の活性化が図られたため。	F: 廃止・休止	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、令和2年度の大宮薪能は中止となったため。	
155					3-2-1-2-05	最新出土品展の開催	文化財保護課	さいたま市内で実施された発掘調査による出土品や、調査の様子を紹介する写真を展示。郷土学習の教材として、また埋蔵文化財の理解を深めるために開催。会場は、市内の博物館施設、コミュニティ施設、図書館、商業施設などで開催している。	平成30年度にさいたま市内で実施された発掘調査による出土品や調査の様子を紹介する写真を展示。郷土学習の教材として、また埋蔵文化財の理解を深めるため、市立博物館、七里コミュニティセンター、コクーンシティで開催した。	B: ほぼ達成された(70%以上85%未満)	巡回展会場の入館者減により見学者数は減少したが、例年通りの反響がみられたため。	B: 現状維持	巡回展示の会場を替える工夫をしながら、市民の方が埋蔵文化財に触れる機会を継続的に提供するため。	
156					3-2-1-2-06	見沼通船堀開門閉閉実演	文化財保護課	平成6年度から平成9年度に整備した国指定史跡「見沼通船堀」を活用し、広く一般の方々に開門閉閉の様子を公開する。	チラシ、ポスター、市報、ホームページだけでなく、SNSや駅周辺のデジタルサイネージ等も利用し、周知を図った。8月21日午前、午後の2回開催し、合計2,000人の見学者が訪れた。	A: 達成された(85%以上)	再整備工事等のため、5年ぶりの開催であったが、見学者が目標人数に達し、見沼通船堀の活用が図られたため。	F: 廃止・休止	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止としたため。	
157					3-2-1-2-07	文化財刊行物の配布	文化財保護課	さいたま市における文化財の普及、啓発、活用を行うため、各種文化財刊行物を作成し、配布する。	文化財時報 1,200部×4号 文化財保護年報 300部 市内遺跡調査報告書 300部 真福寺貝塚発掘調査概報 300部 文化財調査報告書 300部	A: 達成された(85%以上)	予定どおりの部数を刊行し、市民や博物館等関係機関へ配布を行った。	B: 現状維持	文化財マップと文化財調査報告書を交互に発行しているため、発行部数に変化が生じるが、事業の組み立て自体に変化がないため。	
158					3-2-1-2-08	地域の歴史・文化資料の収集・保存	図書館	地域に関する出版物だけでなく、地域のパンフレットやチラシなど図書以外の形態の資料や市民の著作物についても積極的に収集するとともに、地域の記録を残す活動を支援する。また、地域資料などの半永久的な保存と高度な検索を可能にするため、資料のデジタル化を進める。	不要になった資料を図書館間で有効活用するための地域資料交換会を実施したり、全庁掲示板などで庁内へ寄贈の呼びかけを行い、地域資料の収集・受入を積極的に行った。	A: 達成された(85%以上)	数値目標の97%に達したため。	B: 現状維持	地域資料のデジタル化事業で登録可能な資料については平成30年度で完了している。今後も関係各所に呼びかけ、地域・行政資料の収集と受入を積極的に行い、維持管理に努める。	
159					3-2-1-2-09	伝統文化講座・歴史講座の充実	公民館	市民の郷土意識、地域への誇りや愛着を高めることを目的として、伝統文化講座・地域歴史講座を実施する。	公民館において、伝統文化講座・地域歴史講座を実施した。	D: 達成されていない(50%未満)	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から20事業が中止されたため、目標数値を達成できず、Dとした。	B: 現状維持	地域のニーズの把握・分析に努め、引き続き事業を実施していくためBとした。	
160					3-2-1-2-10	さいたま子ども短歌賞	生涯学習振興課	市民に広く親しまれている短歌を通して、児童生徒の豊かな感受性と国語力をはぐくみ、伝統的な言語文化の継承を図るため「さいたま子ども短歌賞」を実施する。全国の小・中学生を対象に作品を募集し、表彰を行う。	小・中学生14,266人(31,471首)の応募作品の中から、優秀作品20首と入選80首を選考し、表彰と作品集の刊行を行った。	A: 達成された(85%以上)	目標値に対して参加人数が約93%であったため。	B: 現状維持	今後も市民に広く親しまれている短歌を通して、児童生徒の豊かな感受性と国語力をはぐくみ、伝統的な言語文化の継承を図るため。	
161					3-2-1-3-01	ユーモアフォトコンテストの実施(プラザノース)(再掲)	文化振興課	漫画・ユーモアというさいたま市の長を活かして、ユーモアフォトコンテストを実施する。	①11/16～24「さいたま市ユーモアフォトコンテスト(展示)参加1,566人(国際漫画フェスティバル等含む) ②11/16・17(計4回)「プロのカメラマンが教える撮影講座 こんとき、どう撮るの!? 教えてプロカメラマン」参加37人 ③11/24「ネコ写真家・沖昌之トークショー『写真集 必死すぎるネコの撮影秘話』」参加62人 ④9/26～11/10「ユーモアフォトコンテスト歴代入賞作品展」(人数カウントなし)	B: ほぼ達成された(70%以上85%未満)	応募者数、応募作品は増加した。しかし、開催日程を後ろ倒しした事もあり、平日集客・イベント集客で苦戦した。	B: 現状維持	事業内容はさいたま市の文化を発信するものとして重要であり、引き続き応募者数・作品点数増、イベント・展示参加者増を目指す。コロナ環境下での開催であり入場者制限等を考慮し、現状維持を目標とする。	
162					3-2-1-3-03	鉄道文化の振興	文化振興課	本市における鉄道の歴史を踏まえ、本市と東日本旅客鉄道株式会社大宮支社が主催する「鉄道のまち大宮 鉄道ふれあいフェア」への参加協力を行うほか、鉄道博物館等との連携を図りながら、鉄道文化の振興事業を企画、実施し、広く発信する。	開催日: 令和元年5月25日(土) 会場: 大宮総合車両センター	A: 達成された(85%以上)	来場者数目標3,000人を達成したため ※会場内にテントを設け、啓発リーフレット等の配布でカウントしている。	B: 現状維持	多数の来場があるものの、会場内スペース等の限度もあり、引き続き現在の規模で事業を継続していく。	
163					3-2-1-3-04	漫画文化の振興	文化振興課(漫画会館)	所蔵する北沢楽天などの資料を様々な場所で展示紹介することで、広く楽天をはじめとする漫画文化を知ってもらおう契機を作る。	講演会: 8/25 漫画資料室の開放: 土日祝日、夏休み期間 公募漫画展: 7/31-9/5(募集) 7/20-8/25, 12/7-2/11(展示) こども漫画教室: 12/8	B: ほぼ達成された(70%以上85%未満)	目標数値には達しなかったが、目標数値の70%は超えたため。	B: 現状維持	漫画文化への関心・理解を高めるため、公募漫画展やまんが教室を実施し、楽天にまつわる漫画文化振興を実施するため。	
164					3-2-1-3-05	人形文化の振興	岩槻人形博物館	・人と人形の歴史を探り、未来へと人形文化を継承する施設として、(仮称)岩槻人形博物館を整備する。 ・所蔵品を中心とした展覧会の開催、人形文化に関する講演会、講座などを開催することで、人形文化を広く内外に発信する。	開館を記念して、館蔵の名品を紹介する展覧会を実施。 展覧会名: 開館記念名品展 I「雛人形と犬笛・天児・這子」 会場: 岩槻人形博物館 日時: 令和2年2月22日(土)～4月12日(日) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止による休館のため、3月1日(日)まで9日間のみ開催	A: 達成された(85%以上)	新型コロナウイルスの影響により、講演会等が中止になったが、目標である展覧会1回を開催したため。	A: 拡大・充実	新型コロナウイルスの影響を色濃く受けるものの、展示会開催回数を、令和元年度の1回から、令和2年度は3回に増やし、人形文化の振興を図るため。	
165					3-2-1-3-06	盆栽文化の振興(再掲)	大宮盆栽美術館	盆栽を中心として、盆器、水石、絵画資料、歴史・民俗資料などの紹介により、盆栽文化をひろく内外に発信する。	・特別展2回、企画展9回 ・講座等430回 ・さいたま国際盆栽アカデミー日本人向けコース(初級・中級・上級)、在住外国人向け・外国人向けコース(初級・中級)の開講	B: ほぼ達成された(70%以上85%未満)	達成率82%であったため	A: 拡大・充実	展示内容及び普及活動のさらなる充実を図りつつ、引き続き、来館者数増加に向けた情報発信の工夫や取組みが必要となるため。	

生涯学習関連事業実施状況調査表(2次計画)

No.	第2次計画施策体系				体系番号	関連事業名	事業担当課	①事業の概要等	②令和元年度の事業実績	③令和元年度の目標達成度		④令和2年度の事業の方向性	
	目標	基本方針	方向性	基本施策					事業の内容	達成度	達成度を左のとおりとした理由	方向性	事業の方向性を左のとおりとした理由
166	Ⅲ つながる	2	地域づくり・まちづくり	③さいたまらしさの活用	3-2-1-3-08	見沼田圃の保全・活用・創造事業	見沼田圃政策推進室	誰もがいつでも立ち寄れる見沼田んぼとするため、見沼田んぼの総合的な情報発信や学習・休憩・サロン機能、作品展示等の機能を持たせた「新たな交流の場」を創出する。	平成28年6月に運営を開始した「見沼・さぎ山交流ひろば」では、学習や体験、作品展示など、年間を通じて様々なプログラムを実施しました。また、発展的な事業展開を行うため、サテライト企画の運営実験を行いました。	A: 達成された(85%以上)	目標どおり、「見沼・さぎ山交流ひろば」についてサテライト企画の運営実験を行ったため。	A: 拡大・充実	「見沼・さぎ山交流ひろば」について、更なる発展的な事業展開を行うため、特定の施設を1箇所整備するのではなく、駅周辺施設や各種イベント会場など(サテライト)で出張型プログラムを行う予定であるため。
167					3-2-1-3-09	城下町岩槻歴史散策事業	岩槻区観光経済室	市内外からの観光客を呼び込み、まちの賑わい活性化につなげるため、区内の観光スポットを巡り、料亭等の昼食と伝統産業事業所の土産品を持ち帰ってもらう、岩槻の魅力を堪能してもらう。	区内の史跡、人形店、イベント等を巡るとともに、料亭等での昼食と区内伝統産業事業所等の土産品を持ち帰ってもらうことで、岩槻の魅力を堪能してもらう。全12回開催。 12/5「岩槻の阿弥陀仏をめぐる」35人 1/17「巨木のある自社・史跡をめぐる」38人 2/6「岩槻古城八景の跡を歩く」43人 11/21「大宮区民限定城下町岩槻歴史散策」18人 など	A: 達成された(85%以上)	新型コロナウイルスの感染拡大防止のため3月分が2回中止となったが、数値目標の93%を達成していることから左記の達成度とした。	B: 現状維持	新たな申込者は年々増加しているが、受け入れ可能な人数は限られている。新型コロナウイルスの感染拡大防止に対応しながら、引き続き魅力ある内容の散策を開催していくとともに、市外への積極的な情報提供を行っていく。
168					3-2-1-3-10	地域資源を活用した図書館事業	図書館	・サッカー、鉄道、盆栽、人形等の地域の歴史・特色に関連したテーマの資料を収集・保存する。 ・地域に関連する団体・機関との連携や協働による事業を行う。	地元プロサッカーチームと連携したおはなし会や、地域で活動する団体による歴史講座を開催した。	A: 達成された(85%以上)	数値目標の85%に達したため。	B: 現状維持	感染状況を見ながら、地域で活躍している団体・機関との連携し事業を維持していく必要がある。
169				①地域課題への対応	3-2-2-1-01	地域課題に対応した事業の実施	公民館	自治会や地域で活動する団体等との交流や参加者アンケートを通して地域課題の把握に努め、地域課題をテーマとした事業を実施する。	公民館講座の終了後、参加者に対して講座の内容や講師についてのアンケートを行い、地域的課題、地域への愛着を育むことをテーマとした事業を実施した。	A: 達成された(85%以上)	目標数値を達成したため、Aとした。	B: 現状維持	地域のニーズの把握・分析に努め、引き続き事業を実施していくためBとした。
170					3-2-2-1-02	地域課題に関する資料の収集・提供	図書館	地域の情報センターとして、都市計画や産業などそれぞれの地域特性により必要とされる資料を収集し、地域の課題解決に役立てる。	市内や近隣で仕事に従事している方や、起業を計画している方などへ支援する資料、パンフレット等の収集を行った。	C: あまり達成されていない(50%以上70%未満)	数値目標に対する実績の達成率が63%となったため。	B: 現状維持	地域の情報センターとしての役割を果たすことは重要であり、引き続きビジネス支援に役立つ資料等の収集を行っていくことが必要なため。
171					3-2-2-2-01	コミュニティづくり支援事業の推進	生涯学習総合センター・公民館	地域のコミュニティづくりやまちづくりを推進する。	生涯学習総合センター及び公民館において、美術作品展等のコミュニティづくり事業を実施した。	B: ほぼ達成された(70%以上85%未満)	目標数値をほぼ達成したため、Bとした。	B: 現状維持	地域のニーズの把握・分析に努め、引き続き事業を実施していくためBとした。
172	3-2-2-2-02	スクールサポートネットワーク推進事業(再掲)	生涯学習振興課		事業の中心的な役割を担う学校地域連携コーディネーターを全ての市立小・中・特別支援学校へ配置するとともに、スクールサポートネットワーク協議会(SSN協議会)を設置し、学校と地域諸団体等との情報の共有化、学校支援ボランティアによる教育支援活動を行う。	学校地域連携コーディネーターに対する研修会を2回、情報交換及び協議を3回及び地域学校協働活動シンポジウム実施した。また、教育委員会が発行した「スクールサポートネットワーク(地域学校協働本部)ガイドブック」を活用することで、より多くの幅広い地域住民、団体等が学校と協働して行う地域学校協働活動の充実を図った。	A: 達成された(85%以上)	さいたま市学習状況調査における、「保護者や地域の人の学校支援ボランティア活動は、学校の教育水準の向上に効果がありましたか」の質問に、「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」と回答した小学校が100%、中学校が100%であり、目標の85%以上を達成したため。	B: 現状維持	学校と地域の連携・調整や多様な活動の企画・調整等を担う学校地域連携コーディネーターを配置するとともに、より多くの幅広い層の地域住民、団体等が参画したスクールサポートネットワークによる地域学校協働活動を推進するため。			